三笠産業ニュース

発行所
東京都千代田区神田猿楽町1-7
三笠産業株式會社
電話 東京 (292) 1411 大代表

増築完成した三笠産業本社ビルと京谷社長

土木.建築.左官
瓦斯.水道
どんな工事にも

持って重宝使って便利

軽便型

万能ブレーカー

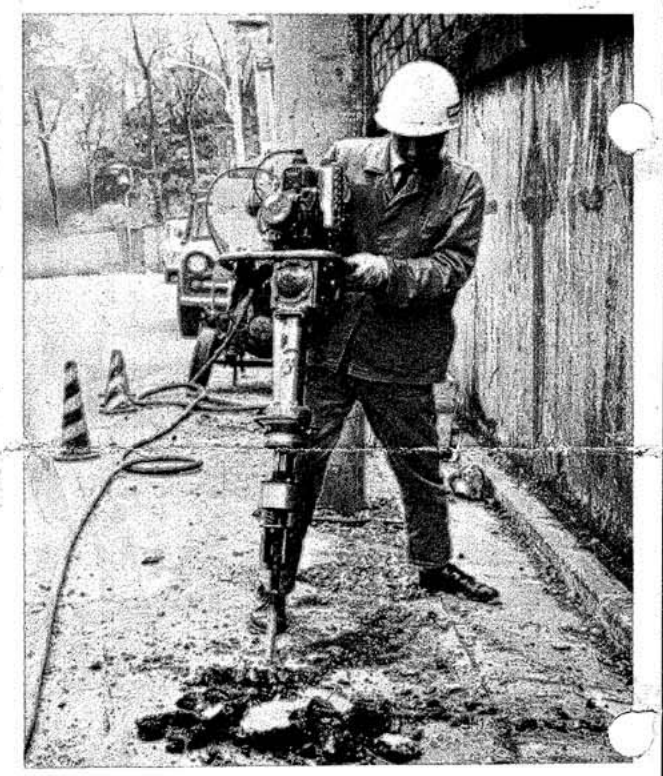
新製品 出現!!!

このたび、新たに創案された本機は、主として小規模の工事に適する機械で、例えば、下欄の写真で御覧のようにアスファルト舗装工事に於ける路面の破砕、切断等を始め、構造物の取りこわし時に於けるコンクリート、煉瓦等の破砕機として使用する他、本機先端のアタチメントを取替えることにより、◎カッターチゼルによる破すり、◎ショベルによる土堀り、◎タンパーによるグリ石の搗き固め、◎フートによる路面の輾圧等ブレーカーを含めて五種の多目的な応用作業の出来る弊社独特の軽便型万能ブレーカーです。

特に本機は、小型軽量に作られているので、小廻りが利き中型、大型機では倒底作業出来ない狭隘な場所とか土間や道路の隅などの工事には極めて能率的です。殊にガードレールの取付け穴を堀り破るためには大変便利です。

その他、本機の先端に杭打用フートを取りつけ、支柱又は作業梯子を準備して、丸太杭、矢板、軽量トレンチシート等の打込みも出来ます。御希望の際はサポート等につき御問合せ下さい。

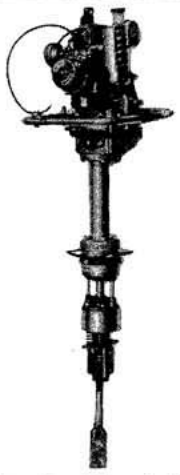
主なる仕様
エンジン　一、四馬力　田中工業製
打数　毎分六〇〇〜七五〇
高さ　約86 cm　幅　30 cm
重量　35 kg
（以上工具ナシのもの）



三笠万能ブレーカーの特徴
破する、堀る、叩く、固める

タンパーになった本機

ショベルになった本機



カッターになった本機

三十年のたわごと

このたび、わが社では創立三十周年を迎えると同時に兼ねてから計画中の本社ビル増築も完成致しましたので、ささやかな祝賀パーティを開くことになりました。これも偏に永年にわたる皆様方の暖かい御支援の賜物と心から厚く御礼申し上げます。

憶うに、三十年という社歴は決して古いとは思っておりません。しかし、私の六十六年の生涯を通じて、一番波瀾に富んだ長い年月だったと思っております。私はいま、漸くの思いで三十年目の峠にたどり着き、思い切り曲った腰を延ばして、今まで登って来た険しい路を振り返へって大声で快哉を叫びたい気持でございます。そうして、更に四十年目の峠に向って、その第一歩を踏み出す身仕度をしたいのです。こんな事をいうと後から誰かが、「とてもそんな慾をかいても無駄だ」とささやいているのが耳に入ります。ですから私に取っては、実のところ、この三十周年の祝典が最後になるのではないかと思っているのです。

就きましては、三十周年に因んで、つまらぬ私の三難噺でもお聞かせして思い出としたいと思います。

私は、大正五年四月、十六才で渡満し徴兵検査までハルビンのデパート松浦洋行に勤めておりました。この間日本軍のシベリヤ出兵などあって、屢々軍の仕事で北満各地を歩き廻ったものでございます。それから五年後の大正十年十一月帰国入隊して大正十三年九月一日、在隊中関東大震災に遭遇し、焦土の中へほうり出されてしまいました。勿論満洲帰りのしかも兵隊上りでは、思わしい職場などあろう筈もありません。そこで遂に意を決して、日雇道路人夫の中に飛び込み寒冷下にツルハシやシャベルを握って都市の復旧工事に働かして貰ったのです。今にして思えば、既にこの時から、建設工事とは深く結ばれていたのではないかと思われるのであります。

その後横浜の川橋屋に服務して十三年輸入機械と取組んだことがそもそも今日の基礎をなしたわけで斯くして昭和十二年漸く独立して、対ソ貿易がどうにか軌道に乗りかけたと思ったらこんどは、日支事変が勃発して、当時中国の尻押しをしていたソビエトと取引をしていたという理由で、スパイ嫌疑をかけられ、板橋国定忠次ならぬ赤城の山に閉じ籠りました。敗戦近き軍隊の待遇は極めて悪く、毎日の主食は豆七、麦二、米一分の割ですから如何に勇敢であるべき日本兵であっても腹にしまりがなく腰がフラついていたのではこれ以上の抗戦なぞ思いもよらないと思いました。この時の私の体重は何んと六貫五百匁も減っていました。

ところが、やがてはこの赤城山に近い館林に工場を構えて結構上等な御飯を頂いて肥らせて貰うことになるのですから、これ又不思議な因縁といわざるを得ません。

復員してからの戦後の苦労は相当厳しいものがありましたが、それは一人私だけが味わったわけではありません。今更改めて申し述べることは止めましょう。

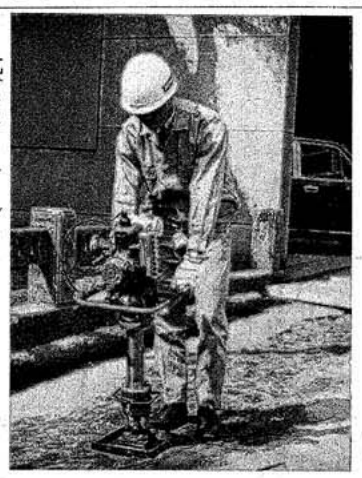
しかし、前述の関東大震災、日支事変、大東亜戦争とこの三難のそれぞれ異った苦労の跡を省みますと、感慨一入深いものがございます。それでも今の時代とは異って苦しいといいながらもその反面、結構面白くて楽しいことも沢山ありました。それだからこそあらゆる辛苦に耐えられたのであって、それには、常に健康に恵まれていたからだと思います。『体が資本だから大事に使えよ』とよく先輩がいって具れましたが、今日ほど切実にこの言葉を強く感じさせられたことはございません。どうか皆様も御健康で御活躍下さい。そうして、三笠を相変らず御贔屓下さるようお願い申し上げます。

三笠産業(株)社長
京谷弘道

円筒型

下駄型

杭打用アタチメント



工場建設における基礎突固め作業

ランマーになった本機

鉄骨ガレージ内の基礎
突き固め作業

アスファルト舗装工事に
おける土の堀出し作業

アスファルト舗装工事
におけるカット作業

創立三十周年を迎えて
お祝いの言葉

（御到来順）

(株)日刊建設産業新聞社（東京）
取締役副社長　花村　茂彦

貴社は本年で創立三十周年を迎えられたのでありますが、この三十年はわが国にとって敗戦と、国土復興への古今未曽有の建設ブームによる激動期であり、この間を躍進した貴社が社会に貢献した大きな足跡を、今さらながら驚異の眼で注目している次第であります。

これひとえに京谷社長の勝れた企業手腕と、その人柄に加えて、社長以下の首脳部はじめ営業、工場各部門の全社一丸となった努力の賜にほかなりません。

このたび、昨秋から建設中の社屋増築もめでたく竣工し、三十周年の佳き日を迎えられましたことは、私ども関係者としてまことに慶賀のいたりでありまして衷心よりお慶び申し上げる次第であります。

貴社は、特殊建設機械の総合メーカーとして、つとに業界にその高名をもって知られ、とくに戦後の十数年は、その豊富な経験とすぐれた技術陣によって高性能の新製品を相次いで開発、さらに一連のシリーズものによって国内は勿論、海外にまで広く三笠製品の浸透をはかるとともに、海外視察や外国メーカーとの技術提携などすぐれた技術指導、工場近代化による生産合理化、国内販売網の拡充整備によるアフターサービス体制の強化などを積極的に推進して業界のトップに君臨するにいたりました。

国は、国土建設の長期計画を推進しておりますが、貴社製品のタンピングランマーやバイブレーター、ローラなどの高性能機械がこうした分野で広く、かつ大量に活躍してよりよき成果を収められるとともに、この三十周年を契機として、貴社が格段のスケールをもって大飛躍の基盤とされ、大きく〝世界の三笠〟として全世界に君臨することの一日も早からんことを、衷心からご期待申し上げまして、お祝いの言葉にかえさせていただく次第でございます。

松本鋼機株式会社（神戸）
取締役社長　松本　文吾

今般貴社におかれましては、創立三十年をお迎えになる由承わりまして誠に感無量なものがあります。

当社とのお取引も約十四、五年に成るかと存じますが、その僅かな間にでも幾多の起伏がありまして、三十年といえば、日本歴史上の最悪な時代を経ており、その間創設者であらせられる、京谷社長の御辛苦は如何ばかりのものであったであろうか。文字通り筆舌に尽しがたいものがあったことと拝します。

未だ御面接の折もありませんが、京谷令夫人様の内助の功も誠に誠に深大なるものと存じ、今回のお祝は全て京谷社長夫妻に贈らる可きものと考えます。つつしんで御二方様に心よりの御祝詞を申し上げます。

さて、今日では日本の三笠、世界の三笠産業としての地位を確立せられ、優秀なる数多くの社員を育成せられ、殊に加うるには、直接後継者たる専務も現在では社業第一線に在り、今後の発展は既に約束される処でありましょう。考え様に依っては京谷社長三十年の御辛労は既に現在において報いられつつあると申せるので御座います。お目出度い限り申せます。

さて貴社今後の発展に資せんため一、二私見を述べて御参考に供したいと存じます。先ず第一として、今後貴社が大きく円満なる発展を持続するためには、販売系列の強化、再整備であり、現在の如く、同一地区に二店或は三店の代理店が在り、そのお互が同一の三笠製品を競売し果ては値引合戦となりつつあり、加えて京谷社長の御意志が末端代理店迄流れにくい状況に在ります。整備された販売系列なしにはメーカーの発展はあり得ません。

第二として製品の新規開発及び再開発に就てでありますが、新規開発に就ては多言を要さぬ処で敢えて省略します。「再開発」に就て申し上げると、これは既に量産化されている商品に就て、今一度その改善改良、宣伝の改善、用途の開拓を考えることであります。

一例を申し上げますと80型ランマーの耐久力は数千時間ある様ですが、そのエンジンの耐久力はたかだか千時間もない。然るにメーカーは乗換エンジンのPR或はその必要性に就ては殆んど説明もせず、具体的な指示もない。代理店の判断に委せられております。

下取、交換販売、予備エンジンの発売等或はこれ等を一カ所に集めて再生するオーバーホールセンター等ランマーだけにでもこれだけ大きな問題が出て来る。

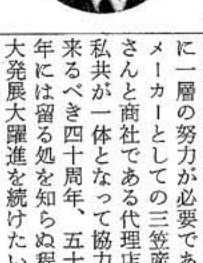
80型ランマーをモートル駆動することも当然考えなければならない。動力線のない現場等は都会地では少ない。又発電機等も大いに活用されている時代です。或は土木現場でコンプレッサーがない処はないのだから、ランマーの動力に「エヤー」を使ってみたら。

商品の再開発を考えるとそれは無限の発展をひめている。又かかる問題を研究討議するために代理店、学識者を含めたモニター制度も考えても良いのではないか。

第三に三笠技術学校の常設。代理店或は大口ユーザーを対象として、そのセールスマンなり現場員を対象として取扱方法、使用技術、修理方法の教育と貴社のPRを兼ね合わせた教育機関の常設、これは単に技術のみでなく十日間位貴社に入参して、貴社幹部と寝食を共にすれば、その人々は先々永久に三笠愛好者となるであろう。

まだ申しあげたいが紙面が尽きました故これで終ります。最後に今後益々社長を中心として打って一丸となり、次の40周年を今の数倍の規模とお嬉びを以てお迎え下さいます様祈って已みません。

社長夫妻の御健康を祈ります。



川口建設機械工業株式会社（東京）
取締役社長　清水　千尋

特殊建設機械振動機メーカーとして今や全世界に雄飛する三笠産業さんが今般栄ある創立三十周年を迎えられると共に本社ビル増築が竣工されて益々躍進への地歩を強固に固められた事は三笠産業株式会社の代理店の一員として三笠製品の普及販売に微力を尽くしている弊社にとっても大変喜ばしく且つ心強さを感ずる次第でございます。

締固める機械そのものの様に会社の基礎ががっちりと固まり名実共に世界の三笠として斯界最高峰に君臨する今日の繁栄を築かれた事は京谷社長さんの卓越せる御手腕と経営陣のチームワークの妙、更には画期的な優秀機械を新に次々と生みだす技術陣等社長さん以下全社員一丸になっての努力の結晶に他ならぬものと深く敬意を表す次第であります。

弊社も三笠産業さんの創立十五周年当時から特約代理店として三笠製品全機種に亘って販売をさせて頂いて参りましたが、この間痛切に感じた事は全国津々浦々の建設業界に非常にPRが行届いており何処へ行っても「三笠の製品なら安心だ」という御客さんの信頼の声が圧倒的で、三笠製品の販売に当っては誇りと自信をもって商売が大変スムースにまとまってゆくという事実でございます。信用と名声は一朝一夕に出来るものではありませんが良くぞこれ程までに成果を挙げ得たものと只々驚嘆致しております。三笠製品は『安心して使える優秀な機械』というイメージが需要家の頭の中に常に存在している証拠で、この三笠製品を販売させて頂く代理店としての弊社は大変有利で年毎に三笠製品の販売高が伸びて鳥の鳴かぬ日はあっても三笠製品の受注のない日はないという程になりました。

然し乍ら「勝って兜の緒を締めよ」の古諺の如く今後益々発展をする為には更に一層の努力が必要でありメーカーとしての三笠産業さんと商社である代理店の私共が一体となって協力し来るべき四十周年、五十周年には留る処を知らぬ程に大発展大躍進を続けたいものと念願致し希望するものでございます。

創立満三十周年を衷心より深く御慶び申し上げると共に三笠産業株式会社を今日の様な隆盛に築き上げた本社社屋新築、館林、春日部工場の新増設、さらには、今回の本社社屋の増築の全従業員各位に敬意と賞讃の拍手を贈ります。末筆失礼乍ら京谷社長さんの御健勝御長寿を祈念致し御祝の言葉とさせて頂きます。

株式会社　群馬銀行（前橋）
専務取締役　玉尾　光次

御社が昭和十二年、千代田区丸の内に創業されてから、社業は年を追って伸展し、そして、従来の安定成長を基本として、ますます発展されますことを、祈念申しあげまして、本社社屋増築工事の完成の日を迎えられましたことを、心からお喜こび申しあげます。

三十年の歴史の中にきざまれた、御社の苦楽が、こんにち、このような成功裡に結実されましたことについて、関係者のひとりとして、しみじみ感慨を新たにするとともに、喜こびにひたっている次第です。しかしそれも、ゆえなくして、こんにちの盛況を迎えたわけではけっしてありません。京谷社長の時代の趨勢を一歩リードしていく卓抜した経営の手腕と、円満な人柄、さらには、社長を支持し、社業の発展にけんめいの努力をされた社員各位のご協力によるものであろうと、確信しております。

よくいわれていることですが、のびると申しますか、成長性の高い企業は、反面財務面が弱い、自己資本が企業ののび率にともなって充足されていないというようなことが世間一般であろうかと思います。しかし、御社の場合は、先般の本社社屋新築、館林、春日部工場の新増設、さらには、今回の本社社屋の増築に伴なって、設備投資が実施されてきたわけですが、常にそれは、安定した財務基調を維持し、資本の投下効率をじゅうぶん考慮した上での、均衡した財務が基盤になっていることを拝見し、深く敬意を表するものです。これが御社が三十年という長い歴史の中に、しかも史上最大の戦争と、それにうちつづくインフレーション、そして、大きい景気の変動に立派に耐えぬいてこられた大きな要因であったのではないかと、つくづく感銘させられております。

どうぞ、こんごとも、こんにちの記念すべき日を、そして、従来の安定成長を基本として、ますます発展されますことを、祈念申しあげまして、本社社屋増築のいませんが、お祝いの言葉といたします。

楢崎産業株式会社札幌支店（札幌）
取締役支店長　金内　重八

御社におかれましては我が国の著しい技術革新の進展に対応され、常に新商品の開発と販売の両面に亘って近代的視野とその実行力を以って、今日確固たる事業基盤を確立されました事は、平素私共の敬服申し上げておるところであります。

御事業の拡大と御繁栄のうちに御社が玆に創立三十周年を迎えられた事は誠に慶賀の至りと存ずる処であります。

御社の社長並びに専務殿におかれては、自から陣頭指揮をとられ私共の北海道にも屢々おいで下されて、我々販売店に対し御指導或は御教示を戴きました事を想い、その御熱意に対しまして誠に敬服する処であります。

何卒将来とも絶ゆまぬ切磋琢磨と時代の進歩に遅れない様探究を切望すると共に、メーカー＝販売店＝需要家を枢軸に愛される商品の母体として、より一層優秀な製品を世に送って戴くことを念願するものであります。

斯くしてこそ、需要家の満足感を湧き起しそれがやがて、販売店とメーカーの発展に繋がる偉大なるエネルギーとなることを信じて疑わない次第に御座います。

ここに意義ある三十周年を心からお祝い申し上げると共に各位の御健康と愈々の御発展を祈って已みません。

親和機械工業株式会社（仙台）
専務取締役　高木　典正

陽春の溢るる様な日射しをうけて胸躍る今日の良き日に特殊建設機械の綜合メーカーとして、国内は元より諸外国迄その名を知られる三笠産業株式会社が本社社屋の増築目出度く三十周年を迎えられましたことは洵に御喜びに堪えない次第で御座います。社長始め社員各位のお喜びも亦一入と御推察致します。

申す迄もなく今日の栄えは各位の日夜を別かたぬ御努力の結晶に他ならぬという一言につきるかも知れませんが、それ以上に感じられますことは各位がその心の根底に燃ゆるが如き根性と強い協調心とそして進取の気性が一丸となって苦難の途を打開された成果ではないかと思考され深い感銘が胸をついて来るのを覚える次第に御座います。

人間よ夢を持て……といわれますが余りにも吾々には、遠大な理想が脳裡にはびこって実現されたものは砂漠の城郭のようなものが数多く見られるとき、八重洲の一角より神田の堂々たるビルに根を下し国土建設の開発源として常に優秀機を開発される貴社は、必ずや国内は元より海外迄席巻する日も決して遠くないと感ずる次第で御座います。

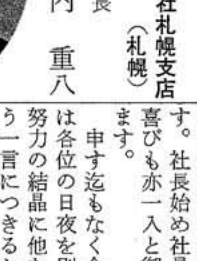
今や世は挙げて自由経済戦に突入せんとする生存競争時代を彷彿させるものがあります。

何卒将来とも絶ゆまぬ切磋琢磨と時代の進歩に遅れない様探究を切望すると共に生産活動を行ない、何れにも高度の技術と抜群の販売実績を示されました。

今日国内市場は勿論のこと、専門分野において「世界の三笠」として米国や東南アジア方面にも広く技術と製品を輸出し、今やヨーロッパ諸国の市場にも進出する機運にありますことは御同慶の至りで、玆に満腔の祝意を表する次第であります。

思うに貴社の光輝ある今日の隆盛は、社長・役員および社員がそれぞれの立場において、きびしい試練に耐え、あらゆる困難を克服して粒々辛苦された賜でありますが、このような発展の契機は戦後の荒廃した国土の復興と経済の発展に欠くことのできない建設機械の製造に着目した京谷社長の卓見によるものと、深く敬意を表します。

わが国の産業経済は戦後驚くべき程の躍進を遂げ、完成を機会に、創立三十周年記念パーティを開催されますことは、洵に喜ばしいことでありまして、謹んで御祝詞を申し上げます。



貴社は昭和十二年三笠貿易商会として発足され、その後三笠商事株式会社、三笠機械工業株式会社と改組されて今日の発展への基礎固めを行ない、更に昭和二十二年三笠産業株式会社と社名を変更して業績の進展を図り今日に至ったのでありますが、昭和十三年以来現在の京谷弘道社長を中心として、役員および社員が一致協力して特殊建設機械の生産と改良に努力を重ね、昭和二十二年以後においてはコンクリート振動機・フィニッシングスクリード・コンクリートカッター等のコンクリート機械およびインパクトローラ・バイブレーションローラ・バイブロコンパクタ・タンピングランマ・アスファルトヒートコンパクタ等の締固め機械を主製品として本格的に生産活動を行ない、何れにも高度の技術と抜群の販売実績を示されました。

今日国内市場は勿論のこと、専門分野において「世界の三笠」として米国や東南アジア方面にも広く技術と製品を輸出し、今やヨーロッパ諸国の市場にも進出する機運にありますことは御同慶の至りで、玆に満腔の祝意を表する次第であります。

思うに貴社の光輝ある今日の隆盛は、社長・役員および社員がそれぞれの立場において、きびしい試練に耐え、あらゆる困難を克服して粒々辛苦された賜でありますが、このような発展の契機は戦後の荒廃した国土の復興と経済の発展に欠くことのできない建設機械の製造に着目した京谷社長の卓見によるものと、深く敬意を表します。

わが国の産業経済は戦後驚くべき程の躍進を遂げ、昭和四十二年度の建設投資は民間投資を含めて七兆円を超えるといわれ、また各種建設機械の需要も二千億円と推定され業界の注目を集めております。

建設機械業界は最近漸く不況を克服し発展の一途を辿っておりますが貿易が自由化された今日、業界の前途にも幾多の困難が予想されます。

しかしながら貴社の輝かしい伝統と不屈の精神は、難関を克服する原動力となり、「世界の三笠」は特殊建設機械の分野において、力強く繁栄の道を歩むものと信じて疑いません。

貴社が本日の記念すべき日を転機として精進を続け、各方面より寄せられている期待に応えて、今後益々発展されますよう衷心よりお祈りいたします。

三洋株式会社鳥取支店
常務取締役支店長　佐々木年男

三笠産業さんが創立三十周年を迎えられるのに際し一言御慶びの言葉を申し上げます。私のところで三笠さんとお取引願ってもう十年以上も経ったと思いますが失礼乍ら随分立派に又社業も益々御発展され何よりの事とお喜び申し上げます。

何事によらず事業の発展される会社にはそれなりに要素があると存じます。先づ第一に事業は人なりと申しますが京谷社長を始めとする幹部の方々及社員の皆様に至る迄社業に対する熱心さ、これが必要に応じ改良を加え又年々発表される新規種を生み出す素因となっておると偶考致します。

機械設計はとかく現場の声を忘れ計算の上に立ってのみ行なわれ易いものですがこの点三笠さんの機械については常々現場の声により有用な機械の製作を心掛け又必要により改良が加えられる。こうした結晶が現在の立派な製品を完成されたと思います。

更に社員の方々が自社製品に精通しておられる。これが製品に対する自信となり加えて全国的に立派な代理店を持っておられる事であると存じます。多少自画自讃で恐縮ですがよく店に来られるメーカーさんで三笠さんの代理店はどこもいい店だと感心しておられる。こうしてみますと御社の事業が発展しないのが不思議で今日の斯業界に冠たる三笠産業も又当然と申さねばなりません。

まだ書きたい事も色々あり思う様に意をつくしませんが御社の御発展を祈念しつつ進まぬペンに苛立ながら拙文を以てお祝いの言葉にかえさせて頂きます。

東京商業興信所（東京）
調査課長　三木　寛制

社歴三十年は、必ずしも、長いわけではありませんが、然し、この三十年は、その間、戦乱の苦闘、戦後の混乱と、実に史上空前の大事変で、最も重大な危機的経験をなめています。貴社は、これを乗り越え、しかもまことに輝かしい充実した社歴を作りあげられて、玆に三十周年を迎えられたことは洵に喜こばしい限りです。

貴社は創立早々戦乱に遭遇し、戦火にかかり、工場は、文字通り一物も残さず、灰燼に帰したという。その廃墟の中から、凜然と立ちあがり、熾んな意欲と、すぐれた経営力とを以て、年たらずして、本工場、分工場、本社屋と、次々に建設され、更に今回本社屋の増築をなし遂げられました。

なおその間、数多くの新鋭機械を業界に提供いたし

まして、確固たる地歩を、画しています。

この素晴らしい業績は、更に伸展いたしまして、ますます立派な社歴を刻して行くものと、信ずるのであります。

今日三十周年のこのお目出度い日に当り、心から貴社の前途を祝福する次第であります。

管機械工業株式会社
取締役社長
菅　敬一

今度貴社創立三十周年を御迎えになり愈々御隆盛に渉らせられ心から御慶び申し上げます。

扨而一口に三十年と申しましても、この永き年月には幾多の御苦労もあった事と御察し致します。

殊に戦時中の統制時代で人材、物資共に入手甚だしく困難な時、総而戦争遂行の犠牲の下で事業を続けられ尚終戦となり世上は一層混沌として前途の動向も判らぬ所謂晦冥時代を善く乗り越えて今日の隆盛を迎えられた事は京谷社長の偉大なる御人格御識見の賜ものであり且つ社員御一同御健斗の結果であると心から敬服の他ありません。

尚、貴社御製作のコンクリートバイブレーターがその優秀さとネームバリューの広大さは今更申し上げる迄もなく建設業界の定評であります。

殊に御社は小型バイブレーションローラー、タンピングランマーその他優秀で然も時代の要求する品を続々と開発され以って産業界に貢献せられし点には只々感嘆の他ありません。

我々は貴社の販売代理店である事を最も名誉とし且つ意を強くするものであります。

何卒今後も益々御研讃の上一層の御発展を切に御祈り致します。

終りにのぞみ京谷社長始め御一統の愈々御健勝を切望して止みません。右乍簡単粗詞と致します。

株式会社三菱銀行三崎町支店（東京）
支店長
宮森　孝次

創立三十周年をお祝い致します。

今日、国内の産業は資本自由化により、国際競争力強化が一段と緊要に成っておりますが、その最短コースは専門化、大量生産によるコストダウンと独自の技術開発、特色有る商品の製作、技術の集中的開発であろうと思われます。

国内市場を制覇する長期経営戦略の樹立の為には、慎重周到な内外市場調査に基き、将来性有る商品を開発すると共に集中生産体制を世界的水準にまで高めることが肝要と思われます。

あらゆる産業において技術は日進月歩しています。建設業界に有っても工期短縮の要請や、労働力不足による機械化はますます促進される傾向にあると思われます。豊かな社会を目ざす社会開発建設工事自体も増加し続けることでしょう。

こうした環境のもと貴社におかれても京谷社長のもと全社員の頭脳を開発結集し、「よりよい機械をより安く」需要家に供給する努力を続け「今日の技術は明日の技術で無い」今日、より優れた技術を開発し国内市場のみならず〝世界に敵なし〟と自負出来る様、尚一層の努力と研讃を重ねられることを期待致します。

モーリス工業株式会社（桐生）
取締役社長
村田　貞治

このたび、三笠産業株式会社の創立三十周年記念号に寄稿する機会を得まして誠に光栄に存じております。

常日頃多大のお引立と御指導を頂いております三笠産業株式会社が現在の業務を創められて本年は三十周年を迎えられ併せて増築も完成され都心の一角にその威容を築かれましたことは吾々恩顧を蒙るものとしてこの上もない喜びで御座いまして、京谷社長以下全社員各位のご精進の程に只々感服の外ありません。ここに紙面をかりてお祝を申し上げます。

昔から十年一昔と申しますが戦前戦後を通じての三十年をこの道一筋に歩み続けた偉大な歴史は実に立派なもので頭の下る思いがいたします。この長い歩みを顧り見れば日々必ずしも平坦な道ばかりはなく仲には想出に残る事柄もあったことと存じますが、京谷社長の豊富な人生体験と業界の動向を適格にキャッチされた経営理念とが相俟って我が国建設業界の発達とともに今日の大をなして記念すべき栄光の日を迎えられた事は決して遇然ではなく総て健全なる構想の実現であったと愚考する次第であります。

私も経営者のはしくれとして常に思いますことは厳しい現代社会に伍してしかもその製品が社会から歓迎され信頼されそして運営に必要なる適正な利潤を得て全社員の生活を保証してゆくことの難しさを痛感している一人でありますが、いずれのメーカーについても共通することは造るもの、売るもの、買うもの、三者がそれぞれの立場で適正のマージンが得られて、しかもその製品の必要度が高くその製品が良質であって、流通過程にある三者間に相互信頼の実が結んだ時にこそ企業は限りない前進が約束されるわけでありますが実はこの事が企業にとり一番難しいことです。

これを現に実行されておられるのが三笠産業株式会社であろうと思います。

今の世の中が人間不信とまでいわれ誰も信じられない場合でも製品には厳しい信用が要求されており製品に対する信頼が競争激化の戦国時代を勝ち抜くただ一つの武器であろうと思います。

このような意味合から吾々協力工場も良品を納入して三笠産業の製品の信用を高め親会社の繁栄とともに共存して参りたいと存じますので末長く御愛顧賜りますようお願い申し上げてお祝詞といたします。

鹿島建設株式会社建築部（東京）
機械課長
小尾　文二

貴社にあっては、建設業においてコンクリート工事が主体である処に着目され、以来三十年にわたり小型バイブレーターを始めとして各種振動機械の開発に努め、優秀なる製品を市販し建設業界に対して多大なる貢献をなされましたことは、まことに喜ばしいことと存じます。

とは申せ創立三十年といえば未だ三十才、当社よりズッと、お若い訳でありますが、主催される方々が、若し創立三十周年をもって、長命を祝うという意味でなされたならば、その志やまことにあわれむべしと言わなければなりません。

勿論、そうではないと信じ、御祝いを申し上げている訳でございますが、私としては、永久に発展の一途をたどることを念じ、亦、確信しているものであります。

貴社におかれましては、内外部振動機を始めとし、簡易及多能路面仕上機等の他タンピングランマー、バイブロコンパクター、インパクトローラ等地固め用輾圧機械やコンクリートカッター、コンクリート鏝仕上機、テラゾー自動床研磨機等コンクリート工事用諸機械並びに振動による諸機械の研究開発と新技術の導入による性能向上に徹し、優秀な技術及研究陣によって、〝機械の製作に当って〟ることは、我々使用者側としても大変喜んでいる次第であります。

私は、三十周年記念のお祝いが、貴社社屋の増築と共に、更に厳しい現実に踏み出すという気魄凛々たる首途の表徴として、心からお喜び申し上げ、今日以後も社長さん以下全社員の方々の団結により、益々その実力を発揮され、新製品の研究開発、発展に努められて、建設業界、更には国家社会のため一層の御活躍を期待するものであります。

片柳商事株式会社（東京）
取締役社長
片柳　利雄

エネルギッシュとダイナミックを加えて「2」で割ると京谷社長の当時の面影が浮かぶ。二十年前の京谷親父は正にそんな言葉で表現し度い風貌と誠にバイタリティーに富んだ三笠の法王だった。

昭和十八年大東亜戦も中盤に入り戦局は吾に不利三笠機械工業志村工場の朝夕も又慌しく増産又増産に追れていた。工場の作業開始は早い朝の八時だ。凍りつく道を踏んで満員のバスでようやく出勤してみると、已に京谷さんはあのギョロリとする目をすえて出社していた。当時妙蓮寺に住む京谷さんは毎朝何時に起きるのかな!!と思いその陣頭指揮ぶりにはふるえた。

近頃はエラク健忘症になって家でよく家人に笑われる私だけれど三笠当時の事は不思議とよく憶えているコンナ事もあった。入社早々社員旅行で名古屋へ行った宴会の席上明日の豊川詣りの志望を募った。行き度く無い者は手を上げよ。私は当時神様は嫌いだった（今は○○教に入ったけど）行き度く無い方へ手を上げたら、後でタント油をしぼられた。

真実の表現をして何故いけないのか?親父の虫の居所は飲む程に曲る事が間々あるそして又霊感の様なものも飲む時に出る気もする。こんな被害を受けた社員は随分多い事と……現社員に同情もする。

工場に一年いて本社勤務となった。戦局は愈々慌しく物価は日に日に上った。特に銑鉄の値上りは甚しかった。会社が三月、半年納期で受注した機械は納品する時は既に売値をオーバーする時が多い。そこで社長の指令により値上交渉が始まった。五割、八割、中には十割近い値上もあった。先輩社員はそんな無茶な事はお得意に言えぬと頑張った。私は只言れる儘に動いてその大分を会社の言値で再契約した。

「値を上げて納品させて下さい。そして一日でも早く機械を動して下さい。それが即増産につながる……と力説した」

その年の暮給料の三倍近い五〇〇円のボーナスを頂きほんとうに嬉しかった。

先般長逝された村松専務は全く惜しい人をと痛恨の極みです。温好篤実、飲むと一寸くどくなるが……無精ヒゲがよく似合う。冬になると着ぶくれてフクラ雀の様になる。コーヒーが好き何時も鞠躬如として金庫を守るには正に最適な人。私の畏敬する先輩だ。

其の当時三菱重工にクレーンを売って四十何万円かの集金をして来た時、私の手を握って喜んでくれた。あの顔は未だに忘れられない。その温顔も今はない!!

その村松チャンに召集が来た。名古屋へ入隊と定った村松宅での歓送中に京谷親父からの命令だ。片利（当時私はソウ呼ばれた）は直ぐ名古屋へ行き、村松を貰い下げ（一寸オカシな表現だけど）て来い。飲んでる酒の味もなくなる様な命令だった。

当時の旅行は筆舌に絶する困難でとても正常ルートの切符の入手は不可能、遂に入場券丈で名古屋入りを決意、車中の人となった。案の丈大船を過ぎしばらくすると検札、満員の車中は逃げるに逃げられない。長口一席ブッタ!!会社に絶対必要な人物だ貰い下げに行く途中だけは必死、雄弁になった。

次の駅で降りて下さいヨ。温情を残し車掌は去った。村松氏は会社に帰えり、私もどうやら任務を果した。

三十周年増築落成の御祝の言葉にしては、我田引水のホラ話になったけれど、三笠の事となるとつい、こんな話になってしまう。又それが無精に懐しいのです。終戦後の苦しい時代の三笠は知らないし……

再建後の三笠は外観より知るよしもない。私の知ってるのはその当時熱気に溢れてた若い京谷さんの指導をその儘に受けて働いた楽しい三笠だけが私の想出です。

後輩諸氏!!貴男方の先輩（村松氏を含め）が三十年の三笠の歴史の中でかく戦った戦史の一駒をこの小文から眺めてみるのも又一興ではないか。現在一社を束ねる身になってみてつくづくその得た教訓の大きかった事を痛感します。

親父は言った「自分の考えだけに捉れず言われた通りぶつかって見ろ」と前述した村松氏の言葉は、我田引水の時左顧右眄は許されないし計算もなく浚巡も出来ず言われる通りブッカッてみた。「ぶつかった後でものを言って来い」私は少くともその通りやってその殆んどが好結果を得た。

私が得たささやかなこの経験から誰かが何かを摑んでくれたなら三笠の三十周年に一番格こうな私の贈物になるではないだろうか。

京谷社長御目出度う御座います。愈々御健かに御発展を祈ります。

日線実業株式会社東京支社
電機重機械輸出部重機械課
課長
馬場賢太朗

この度、創立三十周年を迎えられ、且つその記念事業として行なわれた本社社屋増築の完成をみられた事に対し心から御祝の御慶びを申し上げる次第です。

戦前戦後の困難な時期を乗り越え、競争激甚な斯界にあってこの三十年間発展の一途をたどり今日の名声と繁栄を成し遂げられました事は、一重に社長の一貫した堅実経営と社員皆様の並々ならぬ努力の賜であると存じます。

私共は、主として貴社製品の海外への輸出という事を通じ、これまで一方ならぬ御世話になって来ましたので非常に感謝しておる次第ですが、この過程を通じまして感じました事は、実に全社一致しての仕事に対する情熱と新製品、新技術の開発、更には国内のみならず広く海外に目を向け世界の情勢を把握し、常に国内外を通じ相手をleadするといったこの貴社の研究心と積極性でありまして、今日の三笠産業の三笠産業たる存在は実に茲にあるのではないかと深く感じておる次第です。

どうか、この栄えある記念日を新たなる飛躍の起点として従来に優たる熱意と御努力を以って今後益々発展されん事を願ってやまぬ次第です。

洵に簡単ですが、最後に社長はじめ社員の皆様の御健康を御祈りし今日の記念日の御祝の言葉にかえさせて頂きます。

株式会社片岡屋（沼津）
専務取締役
西野　昇

貴社の歴史は、昭和十二年三月三笠貿易商会として機械工具、計器並に酸素容器の輸入販売を開始されたのが始りと承っております。

爾来三十年、今日の輝かしいご発展と、充実した業績の下で盛大な記念式典を挙げられますことは、洵におめでたく衷心より慶賀申し上げます。

一トロに三十年と申しましても、この期間は、支那事変から大東亜戦争と、国家総動員の下に戦時体制に切替えられ、国運を賭する真に重大な時局下でありました。

その上、終戦時に於ける物心両面にわたる混乱等、全く多事多難なときであったのであります。その間、社長さんをはじめ社員各位の会社経営に対する並々ならぬご腐心は、容易に想像されるところであります。

然しその間にあって、皆様の極めて緊密な連繋協力の下に、よく時流の観察と、市場の動向調査に卓越した力を発揮され、常に積極的営業方針を以て、各種優秀機械の生産と、販売に努力されて、着々とその基盤を確保され、今日のような広く一般の声価と、信用を築き上げられたのであります。

私共の日頃深く敬服申し上げているところであります。

殊に現在の主力機械であります建設関係の諸機械は、既に斯業界に一頭地を抜き出でて、その優秀性を誇っておられるのでありまして、私共代理店といたしましても、常に誇りをもって、その製品を扱わして頂いているのであります。

弊店も古くから貴社の代理店として、日頃ご指導と、ご庇護を頂きお蔭を以て、順調に業績を挙げており「貴社と共に在り」の感を一層深くいたしております。今後交通機関の目覚しい発展に伴う道路の拡充整備と、諸建築の進歩は、一層貴社製品の需要を喚起することは瞭然であります。どうかこの上とも、より研讃を積まれ更に優秀な機械の生産を以て、これ等の要望に応えられ、貴社の末永きご発展をお祈りして、祝辞といたします。

中道機械株式会社（札幌）
取締役社長
中道　昌善

このたび、三笠産業さんが、創立三十周年の輝かしい記念日を迎えられるに当り、お祝いの言葉を申し上げる機会を与えられましたる事は、誠に光栄に思うものでございます。

一口に三十年と言いましても戦前の事は別にいたしましても、戦後の混乱から、激動を続けております産業経済界にあっては、存立すること自体も仲々大変なことでありますが、三笠さんのように今日、業界のトップメーカーとして発展成長なさいました原動力は、なんと申しましても社長さん始め、皆さん方全社員の血のにじむような日頃のご努力と、溢れんばかりの激しい情熱の結晶であり、今日迄、営々として築かれました偉大な業績には、唯々、頭の下がる思いが致します。

社長さんは、戦前戦後も、しばしば単身北海道の隅々迄、販路拡張にご苦労を重ねられたそうですが、弊社には、確か昭和二十八年の早春に、当時道内の土建業界には珍らしい存在の、バイブレータの売込みに来社されましたのを契機に、お取引き願うことになり、爾来十五年、取引額も年々増大し今日に及んでおります。

三笠さんは、時代の変化に対応するのに実に敏でございまして、年々、新製品を開発し、いづれもヒットを致しておりますが、これは業界の動向を適確に見通して、常に一歩先んじ、意欲的に、しかも着実に研究努力を続けられているからだと思います。

今日、建設業界は時代の脚光を浴び、恐らく当分の間は各種の工事が、官民を問わず増大するものと思いますし、又近年遠く海外にも評判が良く、かなり輸出の面でも伸びておられると聞いておりますので、今後三笠さんが、特殊建設機械の特異なメーカーとして発展されることは、全く疑う余地がございません。

今回、本社社屋の増築も見事完成を見ました事は、このような時期に将来の発展の新らたな基盤が出来ましたものとして、心からお目出度うを申し上げます。

今後、日本の三笠としてばかりでなく、世界のMIKASAとして益々御発展なされますよう祈念し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

三笠建設機械株式会社（大阪）
社長
小野　逞三

京谷社長さん、ほんとに御目出とう。こういう言葉丈さえ出ない位の感激です。

思い起せば戦後井上さんの御紹介であなたと御目に掛った時何んと信念の強い人だろうとの初印象を受けたのでした。

銀座のあの狭いビルの一隅で風論談発して大いに共銘して今日に至っております。

そして我が国初めての貴社の製品だった電動フレキシブルハンマーを売らせて頂いた事がそもそもなれ初めというのでしょう。

そして次から次へアイデアを生かされバイブレーションを主体とせられた諸機械を御造りになって我が国レイメイ期に寄与せられた数々の御功績に対し自づと頭が下ります。

バイブレーターを御造りになって西部地区に売らせて頂く事になり私もPRの為めある役所へ使用方を懇願した時「コンな機械を使わせたらセメントが二割も三割も使用量が増えるから駄目だ」軽く断られた事を覚えています。

恐らくあなたもこんなにがい思いをされた事は幾度もあった事だと思います。

それにもめげず悪戦苦闘され今日我国第一の生産と技術をほこる大三笠産業を

御造りになった事に対し心から御祝い申し上げる次第です。

ローマは一日に成らずとか三十年間コツコツ一歩一歩雨にもめげず風にもたえて歩み続けられた結果が今日の成功だと存じます。

さぞ御苦しかった事でしょう。その間の歴史は恐らく涙の一コマと信じます。

また共に歩み続けられた、技術陣、営業マン、各役職員の皆様ほんとに嬉しい事でしょう。

とりわけ専務村松氏が蔭の様にあなたによりそって女房役として協力せられた御功績は万人の認める所であり今日の御盛典にあの数々の御苦労の顔のシワをホコロバせ、そっと語られる御姿を憶い起しこの晴の盛儀を共に頒ちあえないのが只々残念であります。

恐らく草葉の蔭にてホホ笑むと共に大いに嬉んでいられる事でしょう。

京谷社長さん、歳霜三十年功成り遂げて感無量な事だと思います。そして自分の目的のため全生命を打ち込まれた今日、あの立派な工場、この立派な社屋をして増築、更に立派な社員諸君、そして出来上った一流の製品。

いつ迄もいつ迄も新しいアイデアを生かして世界の三笠産業になって下さい。そして私達もその余栄を蒙らせて下さい。御願いと共に一日も早くこの理想に到達せられん事を御祈りして御祝いの言葉とします。

興南商事株式会社（東京）
専務取締役
梅谷　博

三笠産業の社長始め皆様御一同三十周年記念御目出とう御座います。一口に三十年とは言いますがその間数多の困難もあった事と思いますので、皆様御一同が一致団結されて、八重洲口時代より今日の猿楽町の立派なビルを建設され今又このビルの増築工事を終えられる等躍進に次ぐ躍進をされ今日の隆盛を築き上げられた事に対し心より御祝い申し上げます。ビルの増築工事は完了したがこれも又間もなく狭くなり再びビルを上に延ばさざるを得なくなる様に発展されるのではないかと何か期待致している次第です。

扨て三笠産業の皆様今や貴社は日本の三笠産業より世界の三笠産業へと躍進されつつあります。今までに既に数回にわたり諸外国の市場調査等の為に人を派遣されると共に毎年数を増す外国バイヤーの貴社訪問と共に低開発国のみならず先進国の欧米諸国を含めた十数カ国に貴社製各種機械がどんどん輸出され、各国で三笠のマークをつけたコンクリートバイブレーター、タンピングランマー、コンパクター、ロードローラーなどがビルの建設に或は又道路工事に唸りをたてて大活躍している光景を思い浮べる時皆様何と頼母しい限りではありませんか、これは一体何を意味して居るのでしょうか、これ即ち皆様の耐ゆまぬ研究に依る三笠製品の優秀さと併せて販売員各位の御努力の結晶に外ならないものと確信しております。

然し乍ら、日本はもとより世界は「より良い機械をより安く」と願っておりますので今後も一層研究に研究を重ねられ日本及世界の市場の要望に応え「より良い機械をより安く」又コンクリートバイブレーターと言えば三笠、三笠と言えばコンクリートバイブレーターと日本は勿論世界の合言葉となる様益々御発展される事を心より御祈りしてやみません。

三十周年記念のみならず四十周年記念いや五十周年記念も皆様と共に御祝させて貰い度いと思いながら三笠産業に光栄あれと祈るものです。

新東亜交易株式会社
宇都宮支店
支店長
岩淵　欣一

桜花の薫る佳き日に三笠産業株式会社殿におかれまして、創立三十周年をお迎えになりました事は私共代理店の一員と致しまして誠に喜ばしく心からお祝辞を申し上げます。十年一昔と言われておりますが三十年の長きに亘り挽まざる前進を続けられ本日の栄冠をかちとられたことは、京谷社長殿をはじめ役員諸公の卓越せる経営手腕と又これを補佐して生産に販売に着実なる進展を遂げられました社員の方々の並々ならぬ御努力の賜物と敬服申し上げて居ります。三笠産業のお誕生は昭和十二年七月と承りおりますので丁度日支事変の勃発と同年かと存じますがその年代には木工機械の開発に意欲を燃され業界に寄与されましたる事は今も関係者の記憶に新しい事であります。終戦を迎え米軍の駐留するにおよび戦闘に供された各種の機械が建設工事用に転換され日本の復興に貢献致しましたる事はつとに皆様御存知の通りでありますが、私の会社で三笠さんとお取引を願う様になりましたのは昭和二十八年からでありまして、当時三笠の誇るコンクリートバイブレーターの型録は緑色のスマートなものでありました。その頃御本社の社屋は八重洲口にありまして私も何度かお邪魔をしましたが急な階段を登り社長室に入りますと一瞬襟を正さしむる京谷さんの偉容に接し、そこでセールスに就ての有意義なお話を伺った事は今も懐しく思出されます。この質素な事務所にひきかえ工場は逸早く近代的な技術の粋を集めて整備されましたので、三笠のマークの下に常にエンドユーザーに御満足のゆく製品が供給された訳でありまして私共デーラーも心強い限りでありました。顧みますに三笠さんとは既に十数年間お付合いを願って参りました。そこで特に感銘の深かった事を二～三申し上げたいと存じます。

一、上は社長より下は社員の一人々々のどなたに接しましても、何かほのぼのとした暖味を与えられます。これは私共社会生活におきまして最も大切な事で、余程の修養を積まないと困難な境地であります。

一、新機種の開発には特に積極的で、常にトップメーカーとして業界に君臨されて参りました。毎年開催される春の代理店会議にはいつも新鋭機が発表され私達の販売意欲に拍車をかけていました。

かくて三笠産業さんを中心に私共代理店をうって一丸とする三笠丸の前途は洋々たるものでありまして、神田に聳ゆる三笠ビルはこの象徴ともいうべきです。それでは三笠産業株式会社の繁栄を祈念して祝辞と致します。

有限会社原田金物店（松江）
社長
原田治三郎

今回三笠産業株式会社御創業三十周年の祝典をあげらるるに当り一言祝辞を申し上げます。御社におかせられては記念事業として昨年三笠の増築に着手せられこの度堂々たる新社屋が完成致し、益々業界に揺ぎなき基盤を築かれました事は業界のひとしく瞠目する所で御座いまして御社の御喜びはさこそと御推察申し上げますと同時に心から御祝福申し上げる次第であります。承りますれば御創業以来三十年の歳月はその間業界には幾多の浮沈興亡が繰り返されました中にあって御社は超然としてよく波濤を乗り越え今日の隆々たる社運を御築きなされた御努力は誠に範とすべきで深く敬意を表する次第で御座います。殊に社長は人格高邁視野広く又従業員諸君も優秀なる人材多くよく社長を扶けて社業発展の大原動力となって活躍せられつつある事は誠に羨ましき限りで御座いまして国土開発の益々盛んならんとする今日御社の前途は誠に洋々たるものがあります。終りに御社の益々御繁栄と社長様初め従業員各位の御健康を御祈り申し上げて祝辞と致します。

館林信用金庫
理事長
遠藤守三郎

御社が今般、創立三十周年を迎えられ、加えてその記念事業として、本社社屋を増築し、完成をみられたことは、誠におめでとうございます。私心より御祝申し上げます。

さて振り返って、昭和十二年三月御社創立の頃を考えて見ますと、創立に一年先んじて、昭和十一年二月二十六日、いわゆる二・二六事件に始まる、太平洋戦争への第一歩が踏み出され軍事費の膨脹、戦時統制経済、米英両国に対して宣戦の布告、終戦、連合国の日本占領に到る。我が国有史以来の大変な時期の歴史と歩を同じくした。当時のことを考え合せて見ますと、大変な御苦労をなさったことと推察いたし、心の引締るものがございます。

その当時から現在の製品につながる試作をなされておったそうでございますが、当然国情に従い、意とすることと係わりなく軍需工場転換に余儀なくされたものであったと伺っております。

今日私が京谷社長始め御社の皆様との御交誼を得る機会となったのは、御社が創立なされてから、丁度十年を経過した昭和二十二年に館林市へ進出なされ、特殊建設機械の試作ならびに製作に着手なされたころでありました。私にとりましても誠に意義のあることでございます。

御社のこの事業の目的が我国の……言葉を改めて申せば、世界の当時の大勢に「……」た事業に歩を進められ……とを知り、私は心のうちで「快哉」と叫んだものであります。

なぜならば昭和二十二年と申しますと太平洋戦争が終焉し我国の経済は全面的に崩壊。ポツダム宣言の示すところに従って、軍事力の破壊。政治、経済、社会等のあらゆる分野を完全に掌握していた諸機構が閉鎖壊滅、財閥解体、インフレの進行はとどまるところを知らず経済は全くその運行を停止していた時であったからであります。そうゆう時に、いち速く特殊建設機械の製作に立ち上られたことは、業界においても常に一歩を先んじて邁進しつつ、市場に強い競争力を持つ「現在」の有ることは、成るべくして成ったものであると、信ずるものであります。

ここに京谷社長の瞠眼と実行力。社長を信じてあとに続いた方々……当時のことを想い浮べるたびに敬服の念に堪えないものがございます。

その当時から現在の製品につながる試作をなされておったそうでございますが、当然国情に従い、意とすることと係わりなく軍需工場転換に余儀なくされたものであったと伺っております。

今日私が京谷社長始め御社の皆様との御交誼を得る機会となったのは、御社が創立なされてから、丁度十年を経過した昭和二十二年に館林市へ進出なされ、特殊建設機械の試作ならびに製作に着手なされたころでありました。私にとりましても誠に意義のあることでございます。

御社のこの事業の目的が我国の……言葉を改めて申せば、世界の当時の大勢に「……」た事業に歩を進められ……とを知り、私は心の喜び申し上げます。

金剛株式会社（熊本）
取締役社長
谷脇　源資

はじめに三笠産業（株）の創立三十周年を心からお祝いします。

さて、三笠産業（株）といえば、すぐに結び付くのが、建設機械の技術輸出の草分けであるということです。先進国の米国の技術家に認められたということはいかに、その技術が高度なものであるかは言うまでもありません。かくて建設機械の技術輸出第一号をなしとげた三笠産業は、パイブレーターのパイオニアとして国際的に脚光を浴び、確固たる信用と、基盤を築き上げられたのであります。

しかし、只偶然に築き上げられたものでは決してないと思います。そこには、何時も元気なファイトにあふれた京谷社長の第一線に立っての努力があってこそ今日を築いたものであると思います。

こんなことを私は思い出します。熊本の夏は格別に暑いものです。そのさ中に、社長自ら玉の汗を流しつつ熱心にPR活動に励まされた貴い姿をみたとき、私達代理店も「売ららなくては……」との気持を大きく、ふるいたたせたものでした。この様な社長の気迫、努力と共に、常に社長を中心とした、社員の方々の旺盛なる研究心と献身的な協力とが相まって、今日の三笠産業（株）を築き上げたものと思います。

「三笠の建設機械」その性能の優秀さは、建設業界においてはすでに衆知の事実であり、この信用は更に今後の発展に大きく結び付くものと信じます。

この程、創立三十周年の記念事業として、本社新社屋の増築も完成間近かとのことでまことに喜びに耐えません。更に、繁栄の道を明日も駆けつづけられんことを念じつつ、拙文ではございますが、心からお祝い申し上げる次第でございます。

新興産業株式会社（大阪）
物資部長
大野　準一

昭和十二年創設以来、三十年の輝く歴史と、その記念事業として本社々屋の増設完成を祝して、ここに祝宴を催され、「当り、三笠産業株式会」と業界への幾多の功績は、実に感無量、敬服の外なく心から御祝詞申し上げます。

一言に三十年と申しますが、その間、日本史上永遠に抹消することが出来ない第二次世界戦争の勃発とその終戦とがあって承る処によれば戦時中は軍の要請による転換疎開或は戦災による被害復旧等幾多の困難に遭遇され、又一変して戦後の経済混乱時には、奮起して再建の御苦労も一方ならぬものがあったとか、その都度京谷社長の総指揮により経営陣は機に応じ勇敢に適切な計画を樹立され、全社一丸となって鋭意敢闘の結果本日の栄誉ある特殊建設機械メーカーとして異色ある発展をなし遂げられたものと確信する次第であります。時に多年に亘る豊富な経験と、優秀な技術は次から次へと卓越したアイデアとなり、高能率を誇る独特の新製品の誕生となって、建設業界の新兵器として愛用され、広く海外にもその真価を発揮されるに至りました。斯くの如く、歴史と技術の基盤の上に、最近は近代的な経営を採用し、一層と経営の合理化をはかり、さらに販売方針も積極的に国内の販売網を拡充されると共に、海外にも旺盛な意慾で進出され、業績の繁栄拡大を着実に進展されております。

生産に販売に、三十年の伝統ある経験と新鮮な合理化の促進は、技術面に経営面にたゆまざる前進を遂げ、その強固な基盤の上に、更に益々、御発展されるものと期待致すものであります。

御社の海外販売網の一端を荷負う弊社としては、その責務を痛感すると共に、関係者一同ファイトを燃して、一層の拡販に徹する覚悟でありますから、何卒倍旧の御支援を賜り度く懇願申し上げます。増築落成を兼ねた創立三十周年記念を祝して、今後益々、御社の御繁栄と、社長以下全社員の御幸福を祈念して、祝詞を申し上げます。

宝物産株式会社（広島）
取締役社長
末長　等

創立三十周年記念に当り、些かお慶びの辞を申し上げます。

有為転変の激しい建設機械業界にあって、生産と販売の面において、品質と機能において、常に他メーカーをリードされ、殊に新機種の開発には格段の努力を払われて数多の優秀な機械を次々と開発発表され、建設機械業界の向上発展に貢献された功績は洵に多大なものがあります。

特に戦後経済の混乱期を乗り越えて、逸早く新分野の開拓に力を注がれ、今日の隆昌を招来されました事は、京谷社長の先見の明と卓抜な技術に真摯な研究努力の賜であることは論をまたない処でありますが、加うるに優秀な技術社員と営業社員の皆様が打って一丸となって社長を補佐され、互に切磋琢磨して技術の革新に、且つ又販売の拡大に奮励された努力の結晶であることも亦決して見逃せぬ事実であります。

目を諸外国向輸出に転じてみますに、是亦順調な伸長をみつつあるとの事。強力な国内販売に加えて、業績は弥が上にも上昇一途を辿ることは必至でありまして、将来も益々繁栄の道を邁進される事を信じて疑いません。

三十周年記念事業として進められた本社々屋の増築工事も愈々完成の運びとなりまして、名実共に内外にその威容を誇示できますことを重ね重ねお目出たく存じます。

この記念すべき盛時を迎えるに当り、京谷社長の益々の御健康と社運の弥栄を衷心お祈りしてお祝辞といたします。

双葉工業株式会社（松本）
取締役社長
斉藤　政武

桜花爛漫の今日貴社は創立三十周年を迎えこれが記念事業として昨年より本社々屋の増築を進められた処ここに完成の運びとなり本日盛大なる記念祝典パーティを催される事は誠に慶賀にたえません。

よく昔から十年一昔といわれますが貴社は三十周年を迎えたので三昔となります。この長い年月を社長さんの御指導のもと全社員の皆様方のたゆまざる御努力が今日の隆昌を築き上げたものと思います。

今日この盛大な記念祝賀パーティのよき日を記念して益々社業の御発展と皆様方の御奮闘をお願い致します。文化の向上は建設事業に正比例するものであり今日全国各地方の建設工事現場には必ず貴社の優秀製品が活躍されている処を見るにつけ私共代理店の一員として誇りを感ずるものでありますと同時に私共の使命もまた重大なるを痛感致します。

終りに重ねて貴社の益々御発展と御繁栄並に皆様の御健康を祈念致しまして祝辞と致します。

有限会社河上金物店（富山）
取締役社長
河上　三郎

このたび、貴社がいよいよご隆盛のうちに、めでたく創業三十周年を迎えられ、また記念事業として昨年来お進めの本社々屋増築工事も完成され、まことにご同慶に耐えないところで心からお祝い申し上げます。

一言に三十年と申しますが、その間、戦争、敗戦、景気変動、あるいは技術革新、流通関係など時代の急速な変遷のなかに常に業界のトップメーカーとして、需要者や流通の立場を考慮のうえ、創造的技術開発による優れた新製品の市場提供をモットーとしてこられた京谷社長の独創的な経営理念と実行力はいまや海外進出に及び、その繁栄の姿は感銘を深くし衷心より敬意を表する次第であります。

近年日本の経済は驚異的な成長発展をいたし、激増する交通量による鉄道、道路の拡張、新設など多くの公共事業を基本とし、各産業の設備投資の増加でいわゆる建設ブームの現象は我が国の経済及び国土開発の現状から推して今後ますます増大して行くものと思われます。この時に当り優れた建設機械、器具の要望が生まれるのは当然のことと存じます。また、三年後に迫る日本万国博の開催による各産業部門への需要波及効果が大きく予想されますので、特に御社の製品は、一般土木建設に最も関係深い商品でございますゆえ、これを機に一層労使一体の和と、卓越した技術を更に活用されて御隆昌発展されるよう祈念してやまない次第であります。

桜電機株式会社（足利）
取締役社長
笠友会々長
加藤　弘

三笠産業株式会社は創業当初より京谷社長を中心に由緒ある社歴と輝やかしい業績等を明るく写し乍らこに三十周年を迎えられ誠に御目出度御座います。時を同じくして本社社屋増築落成の錦上花を添えて、四月十日の良き日に祝典を挙げられることは重ねてお芽出たいことです。さて世の事はすべて過ぎて見れば早いものですが、つつがなくこの三十年を持続して、年々歳々盛大になってこられ

た事は全く敬伏致す次第です。京谷社長においても、永い間には人材の失去、景気の変動など避けがたいこともいくつかあったのは一応御心配はされたようでしたが、先見の明というかその時その折にふれ高度の見識と強固な決断とにより善処されて、来る可き結果に誤りなくよく今日の盛大なる結果を得られました事は現代語で申すならトップマネジャーの手腕のたまものと思います。又本社員及び協力工場に対しても、古い言葉でいうなれば、人情味有る指導力の結果と私は固く信ずるものであります。而し表面非常に無情で我儘勝手なワンマン的なところが見えるので私共は最初の内は、何んとなく同調しにくく感じさせられた事も屢々有りました。ところが今日では上下万事すっかり三笠ムードに浸って、社長を敬愛し、信頼して、社業に協力させて貰っています。結論としては社長の指針にいささかも狂いがなかったということになりましょう。今後も益々創業より今日に至りました様な過程を続けられます様に御祝旁々御願い致します。

何んと申しましても三十年の歳月は人生で申しますれば大半以上を過した様に思います。苦言の様で申訳有りませんが。

今後の社長の責任は私共より見ればむしろ悲しみを感ずる程重い様に考えます。

社員及び協力工場群は今日までの様な過程になれば決して不服申さず団結して参ります。

車輛でいうなれば私は連結器の様なものです。

その連結ポイントに意を配され三笠産業列車を今後も新幹線の特別急行「ひかり」号の如く安全で速く、乗客からも喜こばれ、信頼されるよう一層の御努力を御願い致しまして私の祝詞と致します。どうぞよろしく。

群馬銀行佐野支店
支店長
金井彦三郎

京谷社長さんはじめ、社員のみなさん

ここに、輝やかしい、創立三十周年の、記念すべき日を、芽出たくお迎えいたしましたことを、心から、お喜び申し上げます。私と、三笠産業さんとのご縁は、館林支店長時代の、昭和三十六年夏ごろでした。当時、私の幼な友達であります、小林館林工場長さんのご紹介で、京谷社長さんといまは亡き村松専務さんの、お二人に会いましたのが最初です。それ以来、今日まで皆さんに変らないご交誼をいただいておりますが、その後、私が横浜、前橋、現在の佐野と職場が移り、直接会社との取引関係から離れましたにも拘らず、京谷社長さんはじめ皆さんに何か、それだけでないという、縁を感じております。私はその辺に、会社の魅力、否、京谷社長さんの人柄、或は経営者として、人間としての尊敬すべき年輪を発見するのです。

よく言われることですが「この道ひと筋」とか、「この道三十年」とかいわれますが、三笠産業さんの場合には、その歴史をつくりあげたものは、まさに、京谷社長さんと、亡き村松専務さんの「名コンビ」ぶりということに尽きると申し上げて過言でないと思います。私はよく、六年前の初対面の印象を思出すことがあります。それはお二人の、持味とでもいいますか、全く対照的なものを強く感じたのです。恐らく、会社の草創時代からお二人は、お互いに有るものを、或は無いものを、夫婦のようにして、今日の隆盛期をビジョンとして生きて来られたのじゃないかと……。

このたび三十周年を迎えた機会に、私は、もう一度、亡き村松さんの、あの黒カバンを持出して、今度は、社員の皆さんで、ますます飛躍する三笠産業さんの、そしてますますご健祥ら、一言お祝いをのべさせて頂きます。一口に三十年とは申せ、終戦直後の、あの荒廃と動乱の渦中から、逸早く、立直り、何時も自分の仕事に、惚れ切って熱心に、その学識と経験の豊富な、社長を中心に、これ又、研究心の旺盛な、社員諸君の、美事な結びつきが、今日の基礎を築き乍ら、新製品を、次々と発売され、世界市場に進出されて、本日の光栄ある日を、迎えられた事と推察されます。日々成長の歩みを辿る我が国産業界に大きく飛躍され、斯界の振興に寄与されている。御社の繁栄を、他山の石として、私共はここに良き教訓を得た心地です。今後もこれを機会に、益々、協調、協力の実を挙げ、産業人としての真価を、発揮せられん事を、心から願って、本日の祝辞と致す次第で御座います。

田摩フレックス工業株式会社（東京）
取締役社長
田摩　秀治

今年は明治百年に当り波乱に富んだ日本歴史を回顧する意義深い歳でありますが。斯様なときにいみじくも三笠産業株式会社が創立三十周年記念を迎えたということは単なる偶然ではないと思われ大慶に存ずるものであります。私は爾来三と謂う数字は非常に好きであり又反面三という数字は極めて意義のある数であると考えております。因みに三のつく社名や諺は非常に多く枚挙にいとまがない程であります。然もこの社名をもつ企業においては大きな成功を納め社会に貢献している事実を考えるとき感念的とばかりはかたずけられないようです。三は本来物を増やすという意味をもつといわれています。このような素晴しい数字が社名と創立記念とに重なり合う貴社の四十二年度は将に洋々たる栄光の砦を築かずにはおかないでしょう。

臼で玄米を搗くとき杵と臼とで圧力をかけるから白米になるように見えますが実は圧力をかけられるとき米と米とが互に摩擦し合って白米が出来る訳です。私は貴社の日常活動をみると、きく京谷社長という杵が会社という臼の中で幹部社員、中堅社員そして全社員が互に切磋しながら協調し力をフルに出し合って活々とした活動体としての企業組織を見るにつけいつも前述の白米製造を連想しております。〝協力は強力に通ず〟という諺を地でおこなってきたからこそ短い歳月のうちに現在のような素晴しい企業体を形成することが出来たものと確信しております。そこでどうしてこのような社風と人材をつくることが出来たのであろうかと羨望の念を抱いている訳ですが〝ローマは一朝にしてならず〟と謂います。社長初め首脳部の方々の人徳と宜機を得た才覚の発揚が長い間に浸透した賜物ではないかと思っております。人は企業を創り企業は人をつくるそして又人は人をつくる。ここに初めて秀れた体質の会社がつくられるのであると思います。私は貴社のすぐれた歴史の中で特に忘れられないことは一にも一にも生産性第一主義を貫かれて来たし現在もそうであるということです。言うは易く行なうは難いのでありますがそれを一貫し実行されてきたところに京谷社長の卓抜なビジョンと透徹した長期への見透しと信念を読むことができるのであります。と申しますのは群馬県館林と埼玉県春日部に近代設備を誇る四千平方米になんなんとする工場で連日新鋭工作機が唸りをあげていたとき本社及び営業所は西銀座、八重洲口の狭いで借家住いであったことを思うにつけ這般のことが解明されるのであります。

一口に三十年といいますがそのうちの三分の二は日本歴史にとって未曽有の汚点である敗戦―そして混迷時代以後という大きな変動期に当る訳でありかてて加えて政府の緩慢なそして不十分な経済復興政策は常に企業の大きな犠牲の上に立案され計画されそして実行されてきたことを考えると準を業界に翔し下さった足蹟の偉大さを思いますにつけて産業界、経済界そして経営陣の大先輩として我々は感謝し尊敬致しおるものでございます。

凡そ人間のやっている事業というものは、その全人格の反映に他ならないのであります。成功するのも失敗に終るのもその人格によって決定するのであります。殊にも京谷社長の鉄の如き固き信念と、技術奉仕の火の情熱を長年月この三笠産業の魂として完全に尽し切って来たという丈けでも三笠産業に生きる京谷社長の人格を思わせるに十分であり三笠産業今日の隆昌があると堅く信じているものでございます。

今や京谷社長を中心に京谷専務そして有能な幹部社員の結束により三笠産業過去三十年の堅き基礎で尽された功績は日本産業建設業界発展の歴史と共に特筆大書さるる金字塔であることは勿論今や国家の為にとりましても一段と大きな力として尽されつつあると言うことが出来ます。我々は三笠産業が愈々堅実に強力にそして誇り高く一層の御発展下さることを確信すると共に心から多幸あらんことを祈念するものであります。最後にこの度の記念すべき日に当り京谷社長始め御一同の益々なる御健勝と弥栄を祝しますと同時に今後共に我々代理店をも育成され

JDMインターナショナルカンパニー
台湾支店長
チェン・チョン・チェイン

Soritsu 30 syunen kinen narabini shin shaoku gorakusei o syukushi masumasu gohanei o inori moshi agemasu.

群馬銀行池袋支店
支店長
川野　栄治

輝かしい創立三十周年をお迎えになり誠に御同慶に堪えません。

創立の昭和十二年は日支事変の勃発した年であり日本の運命の転期になった年でありますが更に十六年には太平洋戦争に突入、二十年には敗戦、戦後の混乱と復興、三十年以降の高度成長と、日本経済も幾多の紆余曲折を経ながらも驚異的な発展を遂げたのでありますが御社もこの変転極りない激流をよく切り抜け自社独特の製品と直営の工場をもって今日の繁栄を築かれた経営者の叡智と勇断とこれに協力を惜しまなかった社員御一同の強固なチームワークに深い敬意を表する次第です。

加えて昭和三十八年には現千代田区神田に立派な社屋を新築されこの度は更に創立三十周年を記念すべく増築せられたのはここに社運の隆盛を物語るもので重ねてお祝い申し上げます。

私も昭和三十九年七月群馬銀行池袋支店の開設を命ぜられ上京してまいりましたが当時は東も西も分らぬ田舎者が地理を覚えることから始り東京砂漠といわれた日照りつづきの夏を玉のような汗を流しつつ取引先の開拓に明け暮れしましたがその甲斐あって同年十二月の開店日には一日中引きもきらず来店客で賑わい開店の喜びに浸ったのでございます。この私の喜びを想い起すときに三十年もの長きに亘り社運とともに生きてこられ今日の栄光と繁栄のいしづえを築かれた京谷社長さんの胸中の喜びは私のそれに数十倍数百倍するものがあろうかとご推察申し上げる次第です。

今は亡き小泉信三氏が当時海軍将校であった令息の出陣に当り「君の出征に臨んで言っておく」と前置きして「僕は若し生れ替って妻を択べといわれたら幾度でも君のお母様を択ぶ、若しも同様にわが子を択ぶことが出来るものなら吾々二人は必ず君を択ぶ」としたためた手紙を贈ったそうであるが御社の皆様も若し再び生を享けたならその職場には再び御社を択ぶよう旺盛な愛社精神とプライドをもち常に創意と工夫、誠意と前向きの努力により限りない前進を続けて欲しい。

最後に御社の日頃の御支援に深謝し社運の弥栄と皆様のご健康を願うとともに三十周年を目前に他界せられた村松専務さんのご冥福を祈念する次第であります。

三和建材興業株式会社（甲府）
取締役社長
天野　義治

一口に三十年と言っても並大抵の年月でなかったことと思います。特に御社が製作されている専門機械類は、数多ある他の建設機械部門に比べると洵に地味であり同時に、極めて国内では歴史の浅い、そして常に創意と研究に明け暮れの歳月であったことでしょう。反面製作されている何れもの機種が、総ての建設工事に対して基幹的要素を要求されるものばかりだけに、これに取組む京谷社長以下全社員の御努力は大へんのことであったろうと、私共常に敬服している次第です。

更らには最近飛躍的に膨張する建設工事に対し、これ等総ての要素を満しつつ需要に御対処なされる御意欲は、あの戦後混乱の最中での万人瞠目の御奮闘に引続き尚一段の研究、製作が熱心、綿密に続けられつつある御姿勢と共に、しみじみと頭の下る思いです。

今日隆々の御発展をされ、目のあたり堂々たる社屋、充実した製品の数々を拝見するに及んで、私はこの栄冠が単なる時流に乗ったのみの結果でないことを確言申し上げたいわけです。

弊社が山梨県下の代理店として御取引させて頂いて以来既に十有数年になります。この間年々質的改善と併せ、価格の引下げ等他社に見られぬ専門的蘊蓄を傾倒され、年々売上の躍進は正に圧倒的です。これは独り山梨のみでなく全国的傾向であろうと信じています。

これは要するに斯業に対する情熱とこれを支える研究努力の賜だと存じます。特に私が感銘を深くしていることは長年月の取引に対し、営業上の御指導は勿論、人対人のやりとりに常に血が通っていることであります。長年の取引間に起るいろいろの障害も、悉く溢るるばかりの人間味で処理されるあり方は、京谷社長の御人柄による薫陶が所謂『新風』化しての結果であろうと秘かに羨しく存じている心境です。

今度社屋増築と併せ、創立三十周年の記念祝賀の佳き日に当り、心から御欣び申し上げると共に、これからも尚一層の御精進を致され私共も『三笠と共に』栄永への御裾分けを賜り度いと、大きく御期待申し上げて筆を擱かせて頂きます。

中道機械産業株式会社（東京）
取締役社長
中道　喜安

このたび、三笠産業株式会社さん創立三十周年の良き日に当り御祝詞を申し述べる機会を頂いて大変嬉しく存じておるものでございます。

三笠産業さんではこの時に記念事業として現本社屋を拡張増築をせられ、その完工を見ました事は洵に喜びこばしき事で重ねて心から御祝いを申し上げます。

四年前に現在の本社々屋を御建てになり初めて生産部門外の拡張に移られた訳でありましたが、私その落成式典にも参列させて頂きメーカーとしての三笠産業さんの御考えが生産部門を第一にせられ、本社関係の拡充は後々とされる事に就いて非常に感銘を受けたわけでございます。

この様な立派な御方針により着々と業績を挙げられ三十年の歴史を誇る建設機械メーカーとして磐石の礎を築かれた事は、御取引を願っている吾々代理店と致しましても満腔の敬意を表する次第でございます。

昨年度は一般景気上昇に加えて土木建設業界の好況により建設機械メーカー及び吾々商社も大いに活躍致しました年でありました。言うまでもなく三笠産業さんに於かれましても、非常に好成績を収められ共々良き年であった事と存じます。

然しながらこの様な一般情勢下にあっても、すべての企業が良いと言う事ではなく、中には何の進歩発展もない。又は没落する所もあるわけで御座います。

この様な中で三笠産業さんが年々規模の拡充、新製品の開発、商品化、サービス面の徹底等、業界の最先端を一路邁進される京谷社長さんの経営手腕、又これを基本とする社員皆様三笠マンとしての誇りある行動により生まれたものであり、今後も益々その成果を業界に打出される事と確信致します。

良きメーカーを得た私共は既に御取引を御願致しましてから十五年程になりますが、この間、常に良きアドバイサーとして御協力を頂き私共の販売に大きな力となっております事は何よりもありがたく度い事と存じております。

何卒今後も従前より以上に絶大なる応援を御願い致しますと共に更に長い御交際を頂き一層密接な、御取引を御願い致し度いと存じます。

茲に創立三十周年記念並に御本社々屋、増築落成に当り心から御祝詞を申し上げると共に益々今後の御繁栄を祈念致しまして私の御祝の言葉と致します。

石井商事株式会社（山形）
社長
石井　淳三

三笠産業株式会社々屋完成並びに創立三十周年を御迎えするに当りここに御祝の筆を取らさせて頂く事は、誠に光栄に存じます。

三十余年幾多の苦難な行脚は一言ではいいきれないものでありますが、京谷社長初め社員一人一人の熱意が今日を築き上げたものと、深く感銘致しておる次第であります。

人間に最も重要な「忍耐」「努力」且又、成長に対する徹底した人間教育が研究の熱心により得ました高度の技術を生みだし、戦後の混乱した劣等時代から、経済成長と共に国土開発の発展に常に献心的な立場を取られ、今日の姿となって表われました事は、非常に喜ばしい限りでございます。

国土の建設にはもちろんの事、世界のマーケット市場に販路の道を開き、意欲的、且又建設的な使命に明日からの大きな役割を十二分に発揮なされる事を御期待致します。

今後は、より一層の御奮励をして頂き益々御発展なされます事をお祈り致しまして御祝の言葉とさせて頂きます。誠に御目出度うございます。

エスキムマシナリーカンパニー（バンコック）
社長
シュ・ティ・セイ

Please accept our congratulation for your thirty years anniversary from shinkosangyo bangkok group minseng macinery ltd skimhuahuad machinery ltd yonghong machinery LP charoenthaikanyontry LP

Mr. Siew Tee Sae.
Managing Director
S. Kim Hua Huad Machinery Co., Ltd.
Yong Hong Machinery Ltd.
Charoen Thaikarnyontr Ltd.
Bangkok, Thailand.

新興産業バンコック支店
一同

Congratulation for your companys anniversary expecting more bright future.

Shinko Sangyo Ltd.
Bangkok Branch
Bangkok, Thailand.

三笠産業が創立三十周年を迎える今日その発展飛躍には目ざましいものがありますが、この会社の主宰者である京谷弘道社長について、その生まれ日の星から考えてみたいと思います。

京谷社長は明治三十四年七月二十八日生まれです。星占学からいえばレオ（獅子重）に属し、生まれた日が日曜日です。レオ（獅子重）生まれは直接太陽の恵みを受けているのですが、その生まれ日がまた日曜日というのは、二重の意味で太陽の影響を深く受けていることになります。

この星生まれの方は元気旺盛、親切な心の持ち主で明るい性格です。日輪の恵みは精神的にも肉体的に強い力を与えられています。

ありあまるほどの力があり、人を惹きつけて止まない魅力の持ち主です。友情、献身、誠意、恩恵などの美徳が生まれながらそなわっているのです。

物質面から見ると、自分の持っているものを喜んで人に与えもし、また自分自身も求めずして素晴しいものを所有することができるのです。用意周到細心の面もあるが、いったん決意したことに対しては大胆に立ち向うところがあり、事業、経済面では積極的に出てこそ成功をおさめられるのです。頭の回転も早く、勘も正確です。したがって資本の回転も早く、これが経済力を一層強大にします。

「虎穴に入らずんば虎児を得ず」とはこの星、生まれの方のモットーです。何ものにも恐れず社会に突入、接触面を広くするほど、頭の冴え、また知識も著え成功点に直結します。

この星の方は自己を信ずること強く、その確固たる態度が他人にも自信を与えるのです。日輪をたえず頭上にいただくこの生まれは豪華さが必要です。多くの遊星を抱き、それに君臨するためにも豪華、荘麗、雄大さが備ってきます。社屋も工場もさらに新設、増築がつづくことでしょう。

この星生まれをアメリカに見ればヘンリー、フォードです。

日本工業新聞社（東京）
常務取締役
小菅　重信

本日、ここに三笠産業株式会社創立三十周年記念を迎えられ、さらにかねて工事中の本社々屋増築が竣工されましたことは誠にめでたく、心から御祝申し上げます。

申すまでもなく、御社は我が国特殊建設機械の有力メーカーとして業界に令名をはせておりますが、この躍進は常に新機種開発に力を注そがれ、それに販売面では当初から一貫して代理店方式を採用、その代理店を尊重されてきた結果によるものであります。

ところで、我が国建設機械工業は戦後の国土復興、開発ブームに支えられ急速な発展をとげてまいりました。すなわち最近五か年間の生産高は、昭和三十七年八百九十六億円、三十八年一千八十一億円、三十九年一千二百二億円、四十年一千九十億円と遂年著しい伸びを示し、四十一年には実に一千五百億円に達しており、このように著しい伸びを示したものは数多い産業機械のなかでも例がないのであります。さらに四十二年度には、政府の第五次道路整備五カ年計画がスタートし、また日本万国博覧会場、新東京国際空港などの大規模な工事があいついで着工されることなどから、好況だった昨年をさらに上回る活発な需要が見込まれており、建設機械業界は先行き明るい見通しにあります。

御社が、我が国特殊建設機械業界の指導的な立ち場において、常に技術、生産面で新分野を開拓され、さらに輸出面でも多大の成果をあげ、とくに先進国アメリカに技術輸出を行なうなど、ひろく海外にまでその社名を高められておりますことは、誠に心強いかぎりであります。

本日、栄えある創立三十周年記念を迎えられましたことは、ひとえに京谷弘道社長を中心として重役陣、技術陣さらに従業員各位の一体となった努力の成果と信じ、心から敬意を表するものであります。

今後とも優秀製品を供給する、いわゆる「三笠精神」を遺憾なく発揮され、ますます飛躍、発展されんことを心から御期待申し上げ、御祝の言葉といたします。

（株）広田機械製作所（名古屋）
取締役社長
広田　政男

まずは創立三十周年と本社々屋の増築されましたことを我事の様に嬉しく幣社従業員一同心より御喜び申し上げます。さて一口に創立三十年と申しましても、これはなかなか容易なことではありません。戦時戦後を通じこの永い年月の間には色々と時代も変っております。その間雨にも負けず風にも負けず嵐にも負けず、よく頑張って下さいました。これも社長様はじめ、全従業員の方々が皆誠実で、お人柄が良くそして絶えず向上心に燃えておられるからで今後の御繁盛が目に見える様で御座います。私共はこの古い伝統の技術から生れた最も信頼性の高い三笠製品を販売することを誇りとし今後も微力ではありますが全精力をぶち込んで御期待にお添いすべく努力してまいりたいと思っております。最後に三笠産業様の今日ある日を御喜び申し上げますと共に、益々御健勝と御繁栄あらんことを御祈り申し上げて御祝の御挨拶と致します。

住友銀行八重洲支店（東京）
支店長
久山　爵

このたび、創業三十周年を迎えられましたことは、永年格別親密なお取引をいただいている住友銀行にとりましても、この上ない慶びでございまして、衷心よりお祝詞を申し述べます。

一口に三十年といっても、昭和の代における三十年は、変転起伏の多い歳月でした。特に戦後は、敗戦による廃墟、物資の不足、インフレーション等、幾多の試練が横たわっておりましたが、これらの難関を見事に克服され、今日の繁栄を築かれたことは、経営方針に誤りなかったことの証左であるばかりではなく、社員の方々の努力、精進が相俟って、はじめて成しえられることであり、「三笠」の団結の強さを如実に示しているものといえましょう。

過日、館林の工場を見学しましたが、外観は、古色蒼然たる建物から、最新の近代的建築に至るまで、対照的なたたずまいでした。一歩中に入ると世界に伸びゆく新製品が整然と生産されているのを拝見しまして、三十年間、堅実に実質本位の経営に徹せられ、見事に発展してこられた。歴史的過程が具現されている心地がして、感銘深いものを覚えました。

さて、今や日本経済は、資本自由化を目前に控え、名実共に世界へ門戸を開放する前夜ともいえる時期にきています。この時にあたり、中国の古い諺にある「画竜点瞳」という言葉が思い起されます。張僧繇という画の名手が、寺院の壁に画いた竜の眼に「瞳」を入れたとたん、その竜が天の彼方へ飛去ったという故事から生れた言葉です。創業三十周年を迎え、かくかくたる業績を挙げられている三笠産業は、立派に画かれた画竜といえましょう。この画竜に「瞳」を入れて、世界の檜舞台に躍り出し、日本の「三笠」から世界の「三笠」へ躍進されることを心から祈念してやみません。

山木屋商事株式会社（仙台）
社長
武田　仁吾

創立三十周年御目出度うございます。創業より守成が難かしいと言われておりますが、目出度く今日の祝典の日を迎えられたことは誠に喜びに堪えません。心から御慶び申し上げます。

三笠さんが今日の発展を為された要素は色々あると思いますが、次の様な事柄もその要因ではないかと思います。

一、社長中心で社内の空気が明るく、ユーモアがある。

一、常に商品の研究に熱心で、新機種の開発に努力し、アフターサービスに努力している。

一、商品の出荷が迅速適切である。

一、社員が何れも一騎当千の粒揃いである。

一、販売代理店を可愛がり、その育成を考えている。

資本の自由化が進み、日本経済の大きな転換期に当り今後益々メーカー・デーラー共に結束を固め益々お互いの発展と御多幸を御祈り致します。

中央螺旋管工業株式会社（東京）
取締役社長
田口　義雄

何処までも澄み渡ったバンコックの空の下で「我が三笠産業」が昨年の秋国際見本市に出品致しました製品の三つ笠のマークを見た時限りない喜びの沸き上るのを押える事が出来ませんでした。今日三笠のマークが国内はいう迄も無く東南アジア、ヨーロッパ更にアメリカと世界に向って力強い躍進を遂げている様子を遠い南の国で自分の目でとらえた時の感慨です。更にこれは京谷社長の秀れた統率の下に全員一丸となられて次々に立派な花を咲かせて発展して来られました三笠産業さんの実力と、とも角も十五年京谷社長の御指導と故村松専務初め皆様方の御協力で微力ながら御手伝いさせて頂いた幸運をかみしめた喜びでした。

本日三笠産業株式会社創立三十周年の良き日を迎えるに当り改めてこの喜びを思い起し心から御祝い申し上げる次第です。企業とは利潤の追求であるとか又企業とは生き延る事であるとか申しますが創立三十年見事に波風を乗り越えて発展され今後とも無限に成長を続けて行かれる三笠産業を築いて来られました企業の人京谷社長を始め皆様の御健康を併せてこの機会に祈らせて戴き度いと思います。

日刊工業新聞社（東京）
臨港支局長
末永 周

創立三十周年おめでとうございます。

一口に三十年といっても、その間には第二次世界大戦、それに引続く敗戦という一大動乱期を乗越えてきたという非常に高価で、しかもかけがえのない年輪であります。とくにこの間陣頭指揮をとり他の追随を許さぬほどの基盤を築きあげられた京谷社長を始め社員の方々のご努力には敬服致す次第です。

さてこのように一応の基盤ができると、三十周年という美名にまどわされ、欲がでて来るもので、多額の増資、専門外の製品まで営業品目に多数組入れたりして、社業の一大飛躍を狙う例が多くあります。

しかるに三笠産業のこんごの目標は、これまで三十年間地道に築きあげてきた土台の上にたって、現在の小型で軽便でどんな建設工事にも使える各種の振動、輾圧関係の機械をさらに堀下げて研究し、より利用者が喜ぶ製品を生みだすことに努力していかれる方針とのことを承りこれは最近も多く見られる背伸びした企業運営とはうって変った非常に堅実、建全でしかも社業をより発展させる最高の方策と思いました。とくに将来の目標を、中小企業とはいえ世界に名だたる西ドイツのワッカー社と肩を並べられるだけの実力をつけることに置いておられることは、中小企業の発展を強く望みこれを積極的に応援しております私共にとりましてはまことに心強く感ずる次第であります。

おわりにこの三十周年を良い意味での転機とされ、この大目標を達成して大きく成長しこのあとに控えている四十周年、五十周年、百周年の記念行事をより意義深きものとされますよう祈って、御祝いのことばに変えさせていただきます。

株式会社日広連（東京）
社長
長畑潤一郎

銀座の並木通りに美人喫茶の先鞭をつけた店で〝プリンス〟という喫茶店があります。その店のできる前までは、そこにはたしか〝双葉屋〟とかいう呉服屋があり、その二階の貸事務所――それも何軒かの寄合世帯というスタイルの――そこが私の知っている限りの三笠産業の前身であられました。

それは昭和二十五年頃のことですから今からでは十七年も以前のむかし話です。

創立三十周年にもなるそうですから、その当時より更に遠くさかのぼる歴史があったことを、私は今回初めて知ったようなわけで、不勉強のほどをお詫びせねばならないと思っております。

しかし私の拝見してきた十数年の光栄ある三笠産業の発展の歴史は、語り尽すには又それだけの時間のかかる苦闘の歴史でもあると考えております。

銀座から八重洲口の裏通りへ、本社の事務所を移転されてからも、実に長い期間にわたり本社々屋の体裁なんどは一切後廻しで、ひたすら優良なる製品の開発事にも使える各種の振動、輾圧関係の機械をさらに堀下げて研究し、より利用者が喜ぶ製品を生みだすことに努力していかれる方針とのことを承りこれは最近も多く見られる背伸びした企業運営とはうって変った非常に堅実、建全でしかも社業をより発展させる最高の方策と思いました。とくに将来の目標を、中小企業とはいえ世界に名だたる西ドイツのワッカー社と肩を並べられるだけの実力をつけることに置いておられることは、中小企業の発展を強く望みこれを積極的に応援しております私共にとりましてはまことに心強く感ずる次第であります。

おわりにこの三十周年を良い意味での転機とされ、この大目標を達成して大きく成長しこのあとに控えている四十周年、五十周年、百周年の記念行事をより意義深きものとされますよう祈って、御祝いのことばに変えさせていただきます。

株式会社前田産業（青森）
代表取締役
前田サエ

このたび光輝ある創立三十周年を迎えるに当り、心より讃詞を申し上げます。

コンクリートと振動の技術視野を追求しこれが製造販売に徹して三十年。その間戦後の経済、建設界の波瀾万丈を乗り切り逐年諸工場の新設本社新築と躍進を続けこの度社屋拡張の春を迎えるに至りました。

誠に社運、春風満帆の思いが致します。

社長初め社員御一同様の喜びいかばかりかと御同慶の至りです。

近年建設機械の近代化と利用度は日々伸長してきましたが、この状況に即応し、今や貴社の販売網は日を全土に渉り名実共に振動機業界のトップレベルに立っております。

吾々傘下代理店の亦喜であり誇りとする所です。

今後とも商道徳と技術力を結集し多難な建設業界に吾々の先頭に立って推進貢献あらんことをお祈り申し上げます。

長野機械株式会社（長野）
社長
桑原真一

Commercial Agenies
East Pakistan
コマーシャル・エーゼンシー（東パキスタン）
社長
ザシリイー

Dear Mr. Kyoya
I have learnt with pleasure that "MIKASA" has completed 30th year of establishment.
I offer my sincere congratulations to the directors and management on this historic occasion and wish for continued success.

Mr. Wee, Manager
Anglo American Corporationl Ltd.
Kuala Lumpur, Malaysia
アングロアメリカンコーポレイション（クワラランプール）
営業部長
ウイー

Congratulations on thirty years anniversay stop wishing yours further properity.

Mr. Johnny Zamora
Manila, Philippines
ザモラマニファクチャーコーポレイション（マニラ）
社長
ジャニー・ザモラ

Taihen omedeto gozaimasu on your 30th anniversary hoping for more progressive anniversaries to come.

Mr. S. A. Zahiry, Director

貴社は昭和十二年三月、前社長故沢田利作氏と現社長京谷弘道氏とにより三笠貿易商会を創立されて以来今日迄満三十年を経て、本社々屋も立派に増築なり、且最新施設の完備した館林、春日部の二工場を擁して文字通り業界第一位の地位を獲得日本全土はもとより広く海外までも進出するという今日の御隆盛を謹んでお祝い申し上げると共に、この間の御労苦に対して心から敬意を表する次第であります。創業の苦労ということは私自身もよく承知しておりますが貴社の今日までの三十年間は、日本の昭和史その儘に戦争、敗戦、天災、社会改革、不況等々いろいろの苦しいことが押寄せて会社の浮沈にも及ぼす様な危機もしばしば訪れた事もありましょう。

而し乍らこの間経営者、社員各位が一体となって、あらゆる努力を傾注して、一切の苦難を克服して今日の繁栄と磐石の礎を築かれたことは、吾々中小企業経営者の真の鑑みであります。

京谷社長の胸中には、今日の繁栄と幸福とを顧みて、故沢田社長、故村松専務及古参社員各位と共に血と涙を以って綴った粒々辛苦の思い出の数々は万感交々胸中に去来し、さぞかし感無量なるものがあると御拝察申し上げます。

私共貴社製品の販売に当る者としても亦これを考える時、その製品に対し絶大なる信頼を寄せると共に、三十年間の尊い努力の結晶を見る思いであります。

私共も、この日出度い日を期して優秀なる三笠製品の販売に一層努力し、地域社会の発展に貢献致し度いと存じます。

終りに貴社の今後愈々の御発展と、京谷社長はじめ社員各位の御多幸を衷心よりお祈り申し上げて御祝辞と致します。

遠藤鋼機株式会社（新潟）
取締役社長
遠藤作治

このたびはお目出度うございます。

創立三十周年を記念し斯くも立派な近代建築の粋を集めた社屋を完成され、ここに盛大な式典を迎えられましたことはまことによろこばしく心から御祝い申し上げます。顧りみますと最初に八重洲の旧社屋に御邪魔したのは昭和二十七年頃でした。目をつむると今もその日の事が思い出されます。京谷社長が例のにこやかなお顔で事務所の奥から出てこられバイブレーターの販売を頼まれたのでした。きびきびした闘志満々の社員の方が数人おられましたがひどくせまい。しかし活気にみちた旧社屋でした。

今や都市に林立する高層建築、美しいカーブをえがく高速道路、力強いこれ等の建設現場には必ず「三笠」のマークが活躍しております。又海外にも輸出し貴重な外貨を獲得されていると聞きます。

あれから僅か十五年、時流に沿った新製品もつぎつぎと加え斯界のパイオニヤと同時に輝やかしいトップメーカーの地位をかちとられ、遂に今日の隆盛を築き上げられたことはよろこびにたえません。

これもひとえに京谷社長がこれ等製品の将来性と進歩に着目された事業家としてのけい眼と不撓不屈の闘志によるものと敬服致しますが、一騎当千の優秀な社員の皆さんの御活躍あっての賜であります。

私が御社のことで常に感心しておりますのは要約しますと次の点であります。

一、優れたアイデアによる新製品の開拓。

一、他の追随を許さぬ新しい販売方式。

一、社員各位及下請の優れたチームワーク。

各方面から絶大の信頼をよせられております御社の将来は益々その一路をたどるものと信じて疑いません。この佳き日を期して一層の御奮励と御発展をお祈り申し上げ御祝いの言葉といたします。

合名会社菅長（秋田）
代表社員
菅原長治

このたび、御創立三十周年を迎えられると共に、その記念事業としての本社社屋増築の落成を見ましたことは、誠におめでたく、心からお祝い申し上げます。

さて、本年は明治百年にあたりますが、貴社ご創立以来のこの三十年間は、日本の実業界にとりましては明治維新の改革に勝るとも劣らない、変動の激しい、困難な時期であったと存じます。ご創立後間もなく、会社の基礎固めに最も重要な時期と思われる時に大東亜戦争となり、次いで敗戦とそれに伴なう経済界の大変動となり、この間のご苦労は並々ならぬものでありましたことと、お察し申し上げる次第であります。

それにもかかわらず、貴社におかれては、この苦難時代を乗り切られたばかりでなく、この苦難の中から次々に新製品を発表しつつ、着々とその内容を拡充せられ、ついにその製品を海外に輸出するまでに発展し業界をして等しく瞠目せしむるに至りました。

貴社がこのように僅か二十数年で驚異的発展をされたのは、勿論社長様の御人格と、経営陣の経営・統率の宜しきを得た結果に外なりませんが、その裡に、次の二つの宝が隠されていると、拝察するものであります。

その第一は、社内特に幹部は、社長を中心とした家族的な精神的「和」を持っておられることであります。この「和」こそ創立数年後から永く続いた苦難時代を乗り切ったばかりでなく、その苦難の中から次々と新製品を創り出す原動力ではなかったでしょうか。

第二の宝は、三笠産業の製品は、社長の、否、全社員の良心そのものであることであります。良心的製品は、売ろうとする前に既に求められているのであります。この意味で、貴社の今日のご発展、その栄誉は、人為的に得たものではなく、天与のものであると観ずる次第であります。

わが国内は勿論、全世界は今や、国土建設時代というも過言ではないと思います。経済の発展にせよ、民生の向上にせよ、今後の文化の向上は国土建設の上に築かれねばならないと思いますが、あたかも貴社の製品は、この国土建設劇の花形役者であります。従ってその将来の発展も既に約束されているのであります。

この春日の麗らかな陽は、本日の盛典ばかりではなく、貴社の前途を祝福しているかに見えます。

どうぞ、社長さんを始め、皆様も念々ご健勝で、又御社運も益々ご隆昌でありますよう。お祈り申し上げて、お祝いの言葉といたします。

有限会社森谷商会（長崎）
代表取締役社長
永田勲

水ぬるむ新緑の候と相成りました。

この度は貴社社屋増築落成並に創立三十周年記念祝賀会の御招待の栄を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

日頃から格別の御厚情を得ております弊社のこと故喜んで出席いたし、お祝いの一言も申し述べなければならないのでございますが、相憎く出席出来ぬ事を心からお詫び申し上げる次第でございます。

戦前戦後と変遷極まりない日本経済界の荒波を見事乗り越えられて当業界トップの地位を確保せられた事は、京谷社長さん始め、社員の皆々様方の御努力の賜と、心から敬服いたしておる次第でございます。

戦後の国土復興からオリンピック関連工事まで、更には、道路網の整備に至る建設業界は、ブームといわれておりますが、そのブームを支える力の一つに、工事の機械化がある事は、周知の事実でその為に貴社の果された使命は、非常に高く評価される事でありましょう。

日進月歩の機械技術に後れを取らない貴社の真摯な研究態度は頭の下る思いで今後共益々御研讃に努められ、業界の大きな牽引力となって頂く事を心から祈って止みません。

貴社の近代的経営と明るい社屋、更には社員御一同の大同団結によって、益々御発展の一途を辿られる事を祈念して一言御挨拶申し上げる次第でございます。

群馬県館林市長
遠藤仁之輔

特殊建設機械として業界に大きく躍進を続ける三笠産業株式会社が、このたび創立三十周年を迎えられ、加えてその記念事業として、本社社屋増築の完成を見られましたことは、誠におよろこびに堪えず、心からお祝を申しあげます。

一口に三十年と申しますが、日支、大東亜戦、敗戦等、幾多苦難の道を乗り越えて、今日ある礎石を築かれましたそのご苦労は、京谷社長を中心としたみなさま方の、和合した愛社精神の努力以外に何ものもないと信じるものであります。

わたくしも、館林市長として現在四期目を全うしておりますが、就任以来いつも変わらず一貫して「和をもって前進」を信条として郷土発展に微力を注いでおります。

パイブレーター、タンピングランマー等をはじめとし、御社生産の建設機械はいまやわが国のみならず、東南アジヤ、アメリカ、そして西欧にも輸出の歩を伸ばしており、また南極昭和基地の発電棟建設工事には三笠のバイブレーターが活躍とのこと、その前途はまことに洋々たるものがあります。

ここに創立三十周年を迎えた三笠産業株式会社東京本社をはじめ、館林工場、春日部工場、ならびに傘下各社の益々斯業ご発展を心から祈念いたし、お祝いのことばといたします。

館林商工会議所
会頭
大越柳次

御社が輝かしい創立三十周年を迎え、その記念事業として本社社屋の増築完成をみました事は誠におめでとうございます。衷心よりお祝申し上げます。

御社が創立以来厳しい戦時統制経済を克服され、更に終戦後の物資窮乏のさ中に館林市に進出し、我国経済の崩壊状態の中にあって良く初心を貫徹され今日の隆盛を見ました事は社長初め社員皆様のたゆまざる努力の結晶でありまして誠に敬服申し上げると共に祝福に堪えないところであります。

今や建設事業の増大と共に御社が各地の販売網を拡大し生産の増強を計画し更に輸出面にも躍進なされている事は誠に御同慶に存じます。

創立三十周年に当りいさか所信を述べ御社の発展を祈念しつつお祝の詞といたします。

三洋商事(株)（東京）
会長
松浦会々長
島田進

三笠産業株式会社が創業茲に三十周年の記念日を迎えるに当り今日の御盛業誠に慶賀に堪えないものであります。一口に三十周年と言いますが変転極り無き社会状勢の中に然も烈しき競争場裡にあらゆる曲折を経て今日の揺がざる地歩を築かれたる事は社長京谷氏の創意、緻密、英断等々その叡智を以って指導に当り加えて専務始め各部の責任者の方々の常に弛まざる努力が今日を成し更に洋々たる前途の発展を約束付けられたる物と堅く信じ衷心より敬意を表し御喜び申し上げます。

吾々松浦会員の内古きは半世紀に捗り今尚多くの旧友と変らざる交遊と真に刎頸の交わりを続け既に古稀の齢を過ぎたる者もおります。

然しこの会の結成には京谷氏の誠実な人格と彼の持つ牽引力が与って力あったことを忘るることは出来ません。この上とも健康に留意され更に一段の御活躍を祈念して御祝辞と致します。

お札の言葉にかえて

このたび、弊社の創立三十周年に当りましては、御多用中にもかかわらず、早々御鄭重なる御祝詞をお寄せ下され、御懇情洵に有難く、身に余る光栄と社員一同深く感激致しております。

この上は、お言葉の一つ一つを深く嚙みしめ、この三十周年を一つの転機として、更により完璧な三笠製品の改善に努力し、以て皆様の御期待にお応えしたい存念でございます。

何卒皆様に於かれましては、この上共御健康に留意せられ、わが三笠のために一層の御愛顧と御支援を賜りますよう呉々も御願い申しげます。

どうも有難うございました。

三笠産業株式会社
取締役社長
京谷弘道

東南アジア調査団参加記録

海外リース企業の進出可能性についての調査団に参加し、東南アジア「マレーシヤ、シンガポール、バンコック」三カ国の公共事業省及び主要会社を訪問、その間、調査団と離れて、現地に於ける日本商社への販売促進活動を行うと同時に、現在商取引の行われている現地デーラーを訪問し、納入製品に対する意見及び使用状況等を調査する為、二十五日間の日程で、十一月二十二日羽田空航を九時の日航機で出発香港経由で一路クワラランプールに向った。

羽田空港から約十時間で目的地であるクワラランプールの飛行場に到着。この飛行場は緑に囲まれた原野の中にポツンとあって、最近完成したばかりである。飛行機を降りたとたん、ムウーとする蒸暑さで、一時はボオーとする程であった。

最近、ベトナム戦争の影響で弾薬を持込む者がいるので税関が厳しいと聞いていたが、それ程の事もなく無事通関する事が出来た。通関検査を済ませ、飛行場から出ているバスに乗り込み、ヤシの樹やゴムの木が立並ぶ美しく舗装された幅広い道路を約四十分バスにゆられてマリンホテルに着く。

この南国情緒豊かな所にあるマリンホテルに泊り、翌二十三日から日本大使館を振り出しに、公共事業省の各部局並びに現地の有力会社を二十九日迄予定通り、走り廻って調査活動を行なった。

首都クワラランプールは公園都市と称されているだけに、標高三〇〇米位の広い丘を中心として、繁茂する森林の中に豪華な住宅が点々と建並んでいる。この街には縦横に通じる道路があり、どの道を通ってもそのアスファルトの舗装された道は丘の向うの商店街にも通じている。

一年中青々と囲い繁っている草木に囲まれたこの国は、十一月～十二月が一番涼しい季節であるというのに、日本の八月下旬の気候である。街は清潔で美しく近代的なビルやホテルの建物が周囲の緑に良くマッチしている。そして住宅地には、熱帯樹が繁茂っている。ゴミゴミした日本の住宅地とは大分違っているので羨しく、又印象的であった。又一歩ビル街を離れるとマーケット、映画館、大衆市場等の良く人々の集まる場所には、ゴチャゴチャした中国風の建物が建並んでいて、中国人独特のザワメキが眼に入る。そして街を歩いて見て、日本製のホンダ及びヤマハの二輪車が多いのには驚いた次第である。

従来英国の植民地として繁栄して来たこの国は、現在独立したとはいうものの、やはり、英国の習慣や、ものの考え方が今なお残っている。しかし最近マレー人自身の民族意識が高まりつつあり、商業、経済の地盤を握っている中国人との間に、少なからず感情的な対立があるとのことであった。

こうした英国的ものの考え方もあってか、英国の教育を受けた者が、公官庁の役人として起用され、当地に於ける官庁の高級管理者の役職に付いている。主として、英国とマレーシャー大学で教育を授けた者が優先的に、その公官庁の役職に付くことが出来る。このような関係上、企業進出及び販売促進を行う上に最も重要なことは、政府に最も関係の深い業者が優先的に考えられるのが当然である。又こうした現われとして、華僑が企業設立にあたっては、その会社の役員に、マレー人一名を必ず置かねばならない規則になっている。

現在クワラランプールでは産業奨励法を制定し、工業化を促進しようと、海外からの企業進出を非常に歓迎している。企業進出に関しては、現地業者「主として華僑」との合併の形を採る場合が多く見受けられた。出資比率は現地側五十一%、相手側四十九%の事例が普通であるとされている。しかし特別大きなプロジェクトについては、現地側の比率の少ない場合もあるとの話も聞かれた。

この様に外国企業の進出を受け入れるまでになったクワラランプールでは、今後人口増加に依る住宅難を解消する為、ペタリンジャヤはクワラランプール市内から車で約三十分程のところにあり、五年程前から計画的に作られている町である。街に入ると四角に区切られた土地に、オモチャのような家が建ち、人は少ないが新しい時代を迎えるのに相応しい町である。最近では、この街に住みクワラランプール市内の事務所に勤める人も多くなっているとの話であった。

クワラランプールのアイクホーク社ショールーム の一部

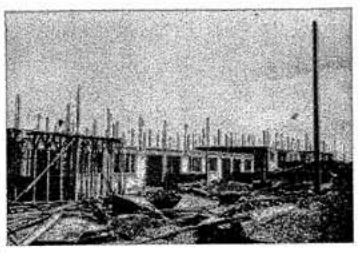
アイクホウー社のチャン社長の案内で、このペタリンジャヤを視察する。同社は中国系の会社であり、会社の規模は小さく小型機械、工具類及び部品等の販売をしながら住宅建設まで行っている。同社はこのペタリンジャヤ工業地帯に自己資金を投資して、約五十万坪に及ぶ土地を買収し、民間建売住宅を建設中であった。そして建売としてのこの住宅を同社は十年月賦で販売しているが、その建設途中で予約を取ってしまうという堅実な経営方法を採用している。

クワラランプールのアイクホーク社内で、中央チャン社長、右側専務

ペタリンジャヤ工業地帯付近にある民間住宅の建設現場柱を作るためコンクリートを流し込んでいる

柱が出来上ったので土間にコンクリートを流して、鏝で仕上げている やがて脇にあるレンガを積んで家を作る

この住宅街から少し離れた所に海外企業を受け入れるに相応しい工業地帯があり、このだだ広い土地には、すでに多くの工場が建設され活動している。この工業地帯を見て新興国家に相応しい産業都市が目前に来ていることをヒシヒシと感じさせられた。


レンガで組立てが完成した住宅

従来この国には英国製品が相当量輸入されて来ていたが、最近米国、フランス等が借款問題に関連付けて相当数の機械を輸出している。このように両国共、借款に結び付け、そのプロジェクトに対し、コンサルタントの役割をも果すと同時に自国製品の売込みに懸命になっていると聞かされた。

このような影響もあってか、日本政府も五千万ドルの賠償を決めるに至ったが、しかしながら両国と同様の方法を採る為には、もっと日本側としても積極的に働き掛けねばならないという意見を聞かされた。

日本商社の駐在員の方々も限られた人員（二名迄認められている）で積極的に販売活動を行っているものの、まだまだ外国商社には、かなわないのであろうか、それともメーカーが余りにも消極的であるのか、建設機械に関しては、外国製品が圧倒的に多く、日本製品としては、小松製ブルドーザーと酒井製のローラーが若干見られるに過ぎなかったので、非常に疑問に感じた次第である。

わが社の製品と同じ機械も殆んど外国製品が占め、日本製品は一台も輸入されてない。その為数社の現地ディラーを廻り、わが社製品を説明して見て、殆んどの会社で興味を示したが、輸入して販売して行くことになると消極的になってしまう。これらの会社で聞いた話しですと、日本製品はサービス及び修理部品の点で諸外国と比較して、条件が悪く納期が遅いという点が心配のあまり消極的にならざるを得ないとのことであった。

そうしてこのような話しを聞かされた時だけに、S商事を通じ現地アングロ、アメリカン社に送り込んだ三笠ランマーの実演及び詳細な説明をする機会を得たことは非常に嬉しかった。

同社の営業部長及び専務さんは、自らこの日本製品たるランマーの実演をして、この機械なら他の外国製品にも負けることなく、販売を促進出来ると確約して下された。

クワラランプールのアングロアメリカン社製品倉庫前にて80型ランマーの説明をする黒眼鏡の人が同社専務、その右がウイー本氏、手前が住友商事課長

アングロアメリカン社専務自ら80型ランマーを運転されているところ

同社の事務所に戻り今後の販売活動について色々と話し合った結果、各地区のサブデーラーに送り込み、販売を推進するために、十台の注文を受けることが出来た時には、天にも昇るような喜びを感じた。ここで聞いた話だが、日本メーカー及び商社の方々が余りにも売りばなし過ぎる為日本製品に悪評が立ってしまった。そして諸条件並びにスペーアーパーツについても諸外国のメーカーより悪いし、納期は遅いしといった非協力的な点に、現地デーラーの積極的販売を欠いているのであるとのことであった。

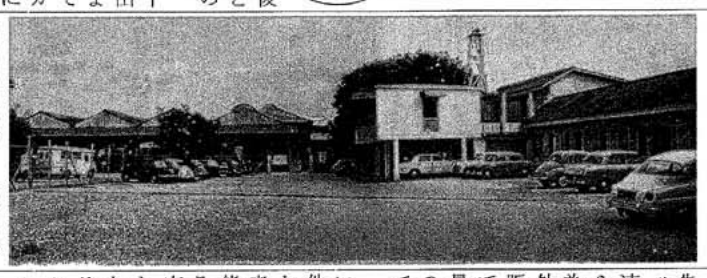
しかしわが社としての販売態勢、協力等を説明し、今後益々両者が協力し合い販売に努めることを約して、このAA社に販売を一任することにした。

これらの注文品もすでに完納するに至った現在、将来のアングロ、アメリカン社の活躍を希望している。

この国では殆んど公共事業省の管轄に依り工事が行われている。そして大きな工事は全て国際入札に依り他の工事は国内入札によって行わなわれている。

これらの入札に応札出来る建設業者は、全て公共事業省に登録している会社に限られている。この民間の建設業者はABC等に区別され、その等級において入札の資格が与えられている。そして公共事業省の管轄において行われる工事に使用する機械は、大小建設機械をとわず、全てその買い付けは国際入札により行なわれている。

公共事業省が買い付けたこれらの機械は公共事業省、自身の工事に使用する場合と、落札した民間建設業者に貸与される場合とがある。


クワラランプールの公共事業省修理工場 全てマレーアの機械はこの工場 迄される

公共事業省から借りる民間業者は殆んど大型機械を借りるのみで、その他の機械は自己資金で購入した機械を使用している。何故ならばこれらの民間業者は資金的能力に乏しいためであって、この国でこのような大型機械を購入する能力のある民間業者は二十社程度であるといわれている。

公共事業省で保有している機械が故障した場合、全て自己の管轄にある修理工場に送り込み、修理が行われている。

各州政府の管轄下にある修理工場を含めると、大小合せて七〇社程度の工場がある。これら各州に設けられている修理工場で修理の出来ない機械は、全てクワラランプールにある中央修理工場において修理される。

この中央修理工場は総従業員六二三名を有し、非常に多くの機械を修理している。そして一年間の仕事量は約八億四千万円にものぼる莫大な全額であるとの話であった。その為全修理部品をこの工場にストックすることが出来ないため購売先である現地代理店にストックがあるか、又は納期の速いメーカーでなければならないとされている。その為これらの条件を満たす諸外国のメーカーが相当量の販売を行なって来た。そして今後の販売推進において最も重要なことは、これらの諸条件を満すことが必要である。

民間業者に販売する機械についても同様これらの条件を満すようにしなければならない。何故なら民間業者の場合も、それ程の修理能力を有していないため、その販売先である現地代理店が、これらの業者に納めた機械を修理できなければならない。もし単に販売するだけで機械の修理をすることが出来ないと販売することもおのずと限定されてしまう。

最近数社の日本メーカーが相当積極的に売込んでいるため、同国における業者も次第に日本製品の良さを認めるようになって来た。この時期にあたって、需要家の希望する条件を満すと同時に、充分なアフターサービスを行い得る代理店を求めることが、今後の販売を促進する上に最も重要であると思った。

この国において大型建設機械を貸与している会社は数社あるが、これらの会社は専業の貸与会社でなく、民間建設業者が自己の保有する機械を使用していない時に貸しているにすぎないが、このように貸与の可能性がある現在、資金的に能力のある会社は自己資金に依り多量に機械を買付けて、新たに貸与会社を設立しようとする傾向にある。その時期にあたって貸与会社設立を希望する会社が数社あった為我々調査団はこれらの貸与会社を希望している数社のうち最も有力な二、三の会社と詳細にわたる話し合いの機会を得ることが出来た。

十一月三十日　水曜日

クワラランプール空港からマレーシャー航空で約一時間二十分でイポの飛行場に到着した。

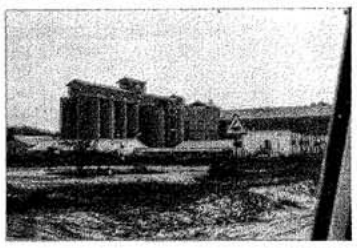
飛行場から車でヤシの樹に囲まれ美しく舗装された道路を約三十分走ったところでイポという小さな街に着く。余り観光客も訪れることがないと見えて、ドライバーも、余り外人ズレしていない。諸外国の商社の支店もなく、皆、仕事のある時だけ出張して来る程度であると聞かされた。

ここは昔から錫の採掘で名の知られた所で、街には錫で一財産を作ったという人々の立派な家が建ち並んでいた。

このイポの街の駅の構内にある古めかしいスティションホテルに宿を取り、午後からこの州において最も有力なバンガヒン社を訪問する。

この会社は中国人の経営している会社で、同社はこの州における中国系業者間で組織している組合を利用して建設機材及び工具類の販売から建設工事まで手を伸ばしている。

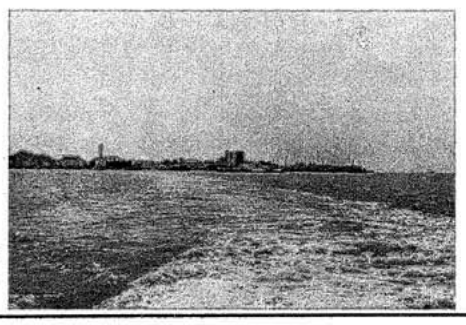
現在取扱っている製品は、独英米国製の小型機械と大型機械の部品を主力にしている。この会社でも日本製品の悪評を聞かされたのは残念であった。しかし同社の社長の話に依ると見積書の乱雑を防ぎ取引社一社を信用して任せるなら販売に協力し、積極的に推進するのも可能であるとのことであった。


イポ市タセクコンクリート社の工場

イポ市タセク工業地帯内のタセクコンクリート社の工場入口にある看板

我々調査団は今回の出張の目的と各社の製品について説明する。その後、ヨーオ、チン、ヒン社長の案内でタセク工業地帯を視察。

タセク地区は鉱山地帯で、ここでの採石はクワラランプールにまでも運ばれ、全ての工事に供給されている。このタセク地区はイポ市の郊外にあり、距離的条件が整っているため州政府より工業地帯として指定されたとのことである。そしてこのタセク工業地帯は中央政府から借り受けたイポ州政府の管轄のもとに生産されている。


フェリーボートより撮る ペナン島

ペナン市はまたの名をジョージ、タウンといい、ここにも中国人街がありクワラランプール同様のザワメキが見られた。

翌二日からペナン州公共事省を振り出しにムダ河ダムを訪問する。

ここ数年前から急に建設工事が活発になった為、ペナン州の公共事業省では中央政府から大型機械を借り、自己の管轄に依ってこの借りた機械を民間業者と契約を結んで貸与している。しかし小型機械に関しては州政府自身の資金で買付けしている。

州公共事業省では殆んど入札に依り民間業者に工事を請負わせている。そしてクワラランプールにある民間業者も中央公共事省に登録していれば自動的に州政府に廻って来て応札資格を得ることが出来る。又ここにある業者は機械の保有量と経験年数に依り応札資格が与えられている。

この州の建設工事量はゴムと錫の生産高によって決着、飛行場から車で約四十分の所に国際色豊かなペナン市がある。このペナン市の南端の海辺に面した所にあるイー・アンド・ホテルに泊る。

このホテルは英国の植民地当時に英国人の手で建てられたとあって、今もなお英国の習慣が残っている。

東洋の真珠と讃えられるペナン島は昔は重要な貿易港として栄えていたが、大型汽船に依る長距離航海が発達した為、現在では昔の繁栄は全く見られない。

められているのが現状のようだ。

ムダ河ダム工事現場はペナン島からヘリーポートで渡り自動車で片道四時間三十分人通りの少ない山道に牛がノロノロと歩いていたり、鶏が行たり来たりしている全くのどかな農村を通り抜けた山の中にある。

この工事現場まで行くためには警察署から通行許可書を頂かねばならなかった。というのはタイ国との国境に近いこの静かな農村地にも最近共産系ゲリラが侵入して来ているとの噂が流れているためだとのことであった。

このダム建設は世銀からの借款に依り国際入札を行った結果、鹿島と大成がジョイントベンチャーで落札今年五月から工事に着工した。そして一九六九年初め迄にこの工事を完成する予定である。

総工事費二五〇億円で貯水池をベタド河とムダ河に建設し、この二つのダムを五マイルのトンネルで結ぶ事になっている。この工事が完成した暁には二十六万エーカーに及ぶ広大な土地に水を供給し、この附近一帯の農民が二期作を作れるようにすることにある。

ここで使用されている機械は全て日本製であるので現地のオペレーターに充分な使用教育を施した後に使用させているとのこと、又ここでも伺え得た事であるが現品をもってデモストレーションをすると同時に日本製品の優秀性を外国に示し、その国に有力な現地ディラーと協力し、最終需要家に迄充分な宣伝を行い、その後のアフターサービスに万全を期して行うならば必ずや販売を推進し得るとの話しであった。

十二月四日　日曜日

ペナン島から約四時間でシンガポールの空港に到着空港からタクシーに分乗し、キャセイーホテルに向った。タクシーの運転手が少し話せる日本語で、昔日本軍が占領していた当時の模様を話し始めた。段々話して行くうちに自分の家族が日本軍に依って殺されたとのことで、日本人に対して一種の憎しみのようなものを抱いているので何んだか無気味であった。しかし色々と話していくうちに自然気持も解け合いほっとした時にはホテルの入口に着いていた。

シンガポールはマレー半島の南端にある小さな島で昔は人も住まないジャングルであって、只海賊達がインド―中国を通う商船を襲うための根拠地になっていたそうである。しかし今は英国の植民地からマレーシャー独立とを経過し独立している。

自由貿易港として栄えて来たシンガポールはジョホール水道によって、マレー半島とのつながりを保っている。そしてこの国は世界中の人種が集まっているようだった。中国人、マラヤ人、ターバンをまいた大きなインド人、又真黒いセイロン系のインド人、そして顔の美しいアーリアン系インド人から、ありふれた白人等が入り交っていて正に人種のるつぼのような所だった。その中で中国人は総人口の約七五％を占め、その経済力は極めて強いといわれる。

我々の泊ったホテルから少し行ったところの路地裏にはマーケットがあり、雑踏と臭気がみなぎり中国人独特のザワメキがここでも見られた。

従来シンガポールを経由して、ゴム、錫の輸出をして来たマレーシャーが最近直接輸出をするようになって来たので、その中継貿易としての役目も不必要となって来ている。その上対インドネシャに於ける在華僑との間に十五％の貿易をして来たが、現在のインドネシャ政治の混乱に依って、バーター取引としての小口商談しかすることが出来なくなって来てしまっている。

その為シンガポールでは工業化の必要性に責められ来年度から第二次五カ年計画に基づいて、港湾、住宅工事を優先的に行い、将来の工業化促進の基盤を築く為、ジュロン地区に工業地帯を設けている。

政府の頭痛の種となっている工業用水確保の問題を解決するため、ジュロンと海岸のドックを結ぶ道路を建設し、その道路の一カ所でジュロン河をせき止め、工業用水八億ガロンを貯水出来るように工事を進めている。又ジュロンに工業地帯を建設し、国内産業の育成に努めると同時に、創始産業法にもとづいて外国の各進出企業に対し、操業開始日より向う五年間の所得免税、操業に伴う機械の無関税輸入、操業後の関税保護等の特別措置を設け万全なる受け入れ態勢を整えている。

（シンガポールのジュロン工業地帯）

ジュロン工業地帯は市内から十数哩のところにあり九〇〇〇エーカーの土地に新産都市を建設すべく工事が進められている。そうして各種産業の受け入れ態勢を整え、年率三％で増加する若い人々に仕事を与えることがその目的とのことであった。

この工業地帯には、もうすでに日本からの進出企業も二十二社を数えられるに至っている。しかし今後益々増加されることが予想される。そうしてシンガポール市と大体同じ大きさであるこのジュロンに諸外国からの進出企業が操業を開始した暁には、正に新産都市に相応しいところとなるであろう。

シンガポールにおいて人口増加に依る失業対策の一つとして実施されている工業化計画は海外企業の進出を容易にしている。そして従来この計画は重工業化の推進に力を入れて来たが、現在その計画も殆んど終ったとあって、今後は軽工業化の促進に努めて行きたいとの投資進行局の話しであった。

投資進行局では各種工業化に伴う技術者を育成するため、各方面から人員を募り充分なる技術者の養成に努めて来た。しかし今後は最近決定した五〇〇万ドル円借款を一般的な技術養成所の建設資金に一部当て、なお一層技術者の育成に努めて行く意向であった。

この国はクワランプールに比較して、工事量が非常に少ない為、公共事業者の機械保有量も少ない。

公共事業省の管轄において行なわれている工事は殆んどクワランプールと同じ方法にもとづいて行われている。相違点としては民間業者に対する応札資格が資本金と工事内容によって等級に区別されている。

ナショナル、デベロプメントの管轄のもとに公共事業省と家屋開発局とがあって、並列の関係にある。そうして両者とも各々計画を企て、それに基づいて工事を遂行している。しかし家屋開発局では工事内容によっては公共事業省の援助を借りなければならない時もある。

特にシンガポールで目立っているのが低所得者を対照にした住宅であり、家屋開発局の管轄に依るこれらの建設される住宅は十、十四、十六階建のビルである。この国における総住宅建設の八四％を家屋開発局で占めているといわれる。

（シンガポールの公共事業省管轄により建設された低所得者住宅）

日本とタイ国の関係は深く、山田長政がアユタヤ王朝時代に渡り、政治顧問として当時貢献したことは有名な話しである。

このように歴史的に見てもタイとは長い関係にあり、現在もなおタイ国では日本人といえば、中国人と区別して大いに尊敬し、非常に近親感をもっていて対日感情は良い国である。

タイ国は軍人と僧侶の国で数多い美しい寺院の国として有名であり、政治、経済の主要ポストは軍人に依り握られている軍人政権国としても又有名である。

しかし兵力に対する国家予算は案外少なく、大部分が経済開発及び教育に向けられている。そしてこの国はヤンヒーダムやコーラー港にリ[illegible]。飛行機を降りたとた[illegible]り暑いのにはネをあげてしまった。シンガポールやクワランプールよりも十度も高く、湿度もあるので地上に立てばズボンの中にムーッと熱気が入ってきて汗ビッショリになってしまった。

コンチネンタル、オアー社のダァモーター支店長の出迎を受け、飛行場から約三十分綺麗に舗装された一直線の道路を同氏の車に乗って第一ホテルに到着。

このホテルはアジア大会を目的に建設し、まだ未完成のため毎日工事する音で非常に騒がしかった。

ホテルに到着後、例によってバンコックでの滞在期間中の調査活動の打ち合せを済せてから、今回わが社より出品した第一回アジア国際見本市を見学に行く。

日本会場は展示場正面より入って左側の奥に第一会場と第二会場とに区別されてあり、建設機械は第二会場を使用されている。そして各国とも懸命に自社製のPRに努めていた。

我々調査団はバンコック憲法記念日で休日の為若干の予定変更はあったが、翌十日より日本大使館を振り出しに民間業者並び公共事業省を訪問調査活動を行った。

これまでのような冒険的に市場を開拓[illegible]た時代は過ぎ、今は既存の進出企業に刺激されて追従する企業が増加しているのが現状のようである。

この国でも公共工事省の管轄のもとに殆んど工事が国際及び民間入札の形態を採り行なわれている。そしてその応札はマレーシャー、シンガポールと同じ方法を採用している。しかし一般的には落札した外国業者は国内の民間業者とジョイント・ベンチャーで工事を行っている。このようにジョイント・ベンチャーで工事を行っている会社は十社程あり、建設業者組合に加入し、その組織に依存して行っている業者は二十社程あり、又単に建設業者として民間工事に従事している会社は百社を超えるといわれる。

従来タイ政府は公共工事省の管轄のもとに国土開発を重点に行なっていたが、最近はこれに並行して協同組合を組織し、農業の近代化を図ろうとする傾向にあるため、マレーシャーやシンガポール以上に民間工事が活発になることが予想される。

このように農業の近代化を優先的に考えているタイ海外局では、第二次五カ年計画に農業の近代化を促進する為輸送問題を早く解決すべく道路建設を計画しているといわれる。そして同局は世界的に有名な機関であって、民間業者と政府の中間にあって民間業者の意を政府に進言するという役目を行なっている。その上、タイ国に如何なる機械が最も適するかを検討したり、小企業の育成にも努めている。

全般的に亘ってこの国では、マレーシャーやシンガポールと違って日本製品が最も多く輸入されているので、訪問した先々で自然具体的な問題にまで話が進んだことは嬉しかった。

わが社と同じような機械は数年前まで殆んど諸外国から輸入されて来ていたが、ここ二年前から積極的に販売を推進して来た結果、最近ではわが社の最も良い市場の一つになっている。

わが社製品を取扱っている現地ディラー数社を廻って見て、至る所の店に三笠製品が展示してあったのには驚いた。そしてこれらの会社は殆んど華僑であるため、その組合組織を利用し販売に努めている。

私は各社においてわが社の機械の性能、品質等が外国メーカーに負けることなく、今では外国からの入る余地もない程ブランドが知れ渡って来ているとの話を聞いて非常に嬉しかった。

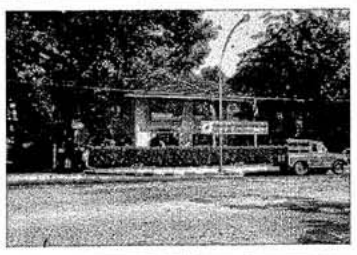
そうして今後なお一層わが社製品を積極的に販売して行くと同時にもっと多機種に亘って取扱って欲しい旨説明し、協力を要請した。

こうして九日間のバンコック滞在中、日本商社及び現地デーラーを訪問し各種製品を説明すると同時に、今後もっと積極的に販売促進に協力して頂くよう要請し、十七日、コンチネンタル、オア社のダァモーター支店長の見送りを得、日本航空機で一路帰国の途についた。

この調査団に参加し、公共事業省の役人に面会出来たこと、又取引関係会社を訪問する機会を得たことは最も有意義であり、且つ今後の販売を推進する上に自信を持った。

（営業部高野輸出係長記）

調査団のメンバー
光東自動車工業株式会社
日本工具株式会社
多田野鉄工所
三井精機工業株式会社
三笠産業株式会社
国際建設技術協会


（バンコックのタイマシナリー社事務所）

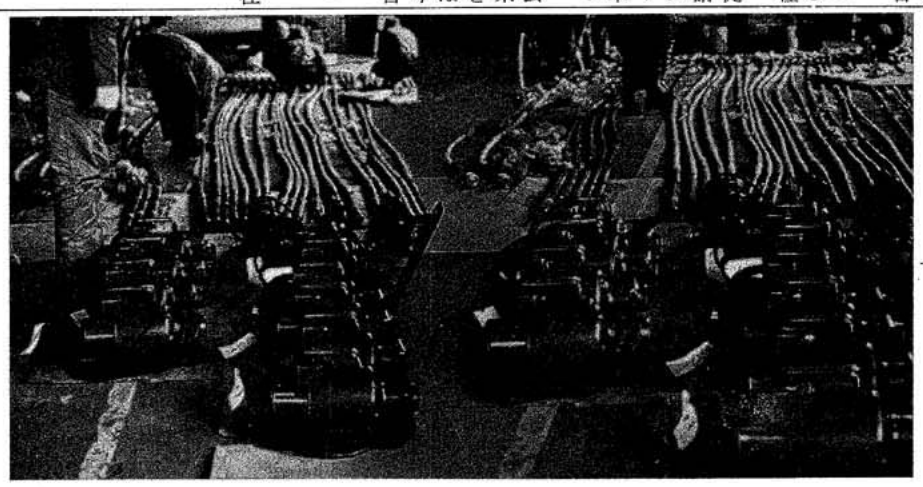
三笠錐振型振動機
南アフリカ ヨハネスブルグへ

今回南アフリカのヨハネスブルグから岩井産業（株）を通じて、MVI＝GM錐振45型内部振動機三五台の受註契約が成立した。

昨年サンプル機として数台を輸出し、現地でテストを重ね、同地域において最も有力視されていた。

従来同地域に対しては、日本の建設機械も相当量輸出されてはいるが、わが社製品のような小型な特殊機械となると諸外国製のものが最も強いとされている。そのうちでもコンクリート振動機に至っては、大分以前からビブロ・フェルケン製のものが入りこんで、最も広い販売網を確保して、殆ど独占的なまでにその勢力を張って来たといわれている。それ故今までどこの国のメーカーも入る余地がなかったようである。

ところが今回わが社の商品を取扱う現地商社は、数社の関連会社が共同で新会社を設立し、同社で三笠製品を積極的に販売して行こうという頗る意欲的な促進政策が物をいって、このたびの受注を見るに至ったわけで、それだけ今回の受注は将来の販売推進に最も明るい見透しを持つものであり、わが社としても又々この新らしい地域の開発によって、更に一つの励みを増したことになったわけである。


館林工場にて組立中のヨハネスブルグ行錐振型振動機

三笠産業俳句

穂波選

館林　長谷川金雄
雲雀啼いて雪の嶺々光り合ふ

横浜　神吉　煙村
膨れ来る街ここまでと畑を打つ

横浜　村松みね代
サーカスの幟はたはた春浅く

東京　森　昭男
菜の花も挨にまみれ桜島

東京　松下　一夫
ビルの窓春猛る風見ていたり

館林　武井　光影
妻娶る故郷の銀嶺バラ色に

館林　玉井　秀男
耕運機黒々と昏れ野火盛ん

横浜　加藤　京女
人気なく沈丁匂い墓地の昼

横浜　神吉　煙村
○春寒う陛下の御脊に似しと言う

（評）六十も半ばを越すと脊骨も丸くなり、お腹の皮もたるんでくるものらしい、そこで「あなたの後姿は近頃陛下に似て来たわー」などと仲々この奥さんユーモラスなところがある。

横浜　加藤　俊子
○網棚にゆれる水仙ラッシュアワ

（評）誰のものだかわからないが、このゴッタ返えした殺人的な電車の人込をよそに、網棚の水仙だけは、その儘の可憐な姿でゆれている、ほほ笑ましい朝の車内風景ではある。

選後吟

去年生れし鯉皆生きて水替える

前号俳句訂正

落葉すや心にかかる蜜厚し
はさみ合ふ骨の白さよ秋夕べ

右の二句村松みね代氏とあるは加藤京女氏の誤りに付訂正します。

次号俳句募集

当季雑詠　1人　5句以内
用　紙　ハガキ又は便箋縦書
締　切　3月20日
社外からの投稿歓迎
○印には薄謝を呈す

京谷社長新年招待会

（一月三日葉山マリーナーにて）

小寒に入ってからにわかに寒さがきびしくなり、この東京地方も、今日は殊の外冷え込んだが、それでもわが社の初顔合せの催がある為か朝から快晴に恵まれ恰も、三笠産業の前途を祝福しているかのような良いお天気であった。

社長宅へ五十名以上からの社員が押し入ったのでは（社長宅の庭に並んで）

どうにもならないということで、主任以上が代表して社長御夫妻へ賀詞を述べてお屠蘇を頂戴した後、去年迄森戸海岸『かぎや』の祝宴に招かれていたが、社員もふえてちょっと狭くなってしまったので、今年から会場を葉山海岸の「ホテル葉山マリーナー」へ移された。このホテルは、海岸縁に建てられた斬新で近代的なセンスを盛り込んだ白亜の殿堂を思わすような高層建物で、春はドライブ族、夏は海水浴客で、大賑いをするとのことである。この会場に本社全社員の他、館林、春日部の両工場長と、更に加藤桜電機社長、田口中央螺旋社長等も加わって昭和四十二年の新春を祝い合った。

とりわけ、パット席上に花を咲かせた十数名のわが社女性群の艶やかな晴着姿は本当に目の覚めるような美しさであった。社長も終始微笑をたたえられ、一同社歌など歌い合って、終始まことに和やかな新年の祝宴会であった。（鈴木記）

（葉山マリーナーにて）

箱根 三笠新年宴会

（一月十四日塔の沢温泉新玉旅館にて）

一月十四日恒例の三笠新年会が、箱根塔の沢温泉、新玉の湯旅館において、社長をはじめ全社員及び当社の技術顧問武蔵工大古浜教授等出席の上花々しく開催された。当館において新年を寿ぎ、鋭気を養うのはわが社の毎年のならわしである。

本年は貸切バスで本社を出発、午後五時頃塔の沢の同旅館に到着した。社長及び専務は別行されたが、バスと殆んど同時に到着された。昨年までは小田急のロマンスカーで新宿から出かけたのだが、切符や乗車の手配、人員の増加等で本年の新年会の幹事は御用繁多を理由に、バスによりまとめて面倒を見てくれたわけである。

（新玉旅館大広間にて）

温泉で一風呂浴びて、ほこりを落し、気持をあらためた上、新年会の席に坐った。先づ社長の挨拶から、皆勤者の表彰が行なわれ、本年は営業部より三名、経理部、技術部それぞれ二名計七名が表彰された。この人たちは昨年一年間無遅刻無欠勤であった。そのあと懇親会に移りアルコールも入ってにぎやかになり、余興の風船割りのゲーム、二人でお尻ではさんで割るので題してケツ圧測定なる競技が行なわれた。

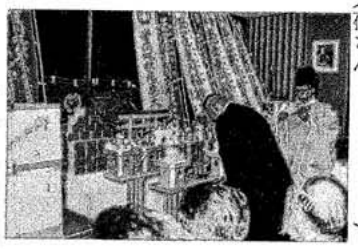
一位小林工場長チーム、最下位社長チームという結果である、この珍妙なゲームの写真をとり損い紙上に紹介できないのは残念である。

かくして新年会はなごやかに終了、同夜一泊、翌十五日全員帰京した。（磯部報）

三笠初午祭

（二月九日本社会議室にて）

昨夜からの冷雨が俄かに雪に変って、今日は早朝からみぞれまじりの肌寒い日祭と重ったため、初午前夜祭と銘打って本社を始め館林、春日部工場とも同時に取り行なわれた。



（会議室に移されたお稲荷さん）

本社では例年通り屋上において行なわれる予定であ

（新しい屋根が奉納された館林工場のお稲荷さん）

遠く神戸から子安、京都から中田、名古屋から岩田の三氏がかけつけられたのを始め、小田原や足利から

（鶯泉楼にて）

二月十九日午後三時から下谷鶯谷の鶯泉楼において会員二十四名が集まって和かなうちに松浦会の第八回総会が開催された。（鶯泉楼にて）

□第八回松浦会の集い

（二月十九日下谷鶯泉楼にて）

雪が始まった。外は何時しか雪になり、その雪が益々強く降りつのって、これが十三年振りで三日間も降り続く大雪になる前ぶれとは誰もが気づかなかったであろう。

尚、館林工場へは、吉田常務、春日部工場へは、森課長が夫々代参した。館林工場では今回お社の上に立派な屋根が奉納された。

荷さんの前で夫々盛大に祝宴が始った。外は何時しか雪になり、その雪が益々強く降りつのって、これが十三年振りで三日間も降り続く大雪になる前ぶれとは誰もが気づかなかったであろう。

尚、館林工場へは、吉田常務、春日部工場へは、森課長が夫々代参した。館林工場では今回お社の上に立派な屋根が奉納された。

折角、御参詣下さるお客様も嘸かし御迷惑だろうとの社長の配慮と、何時も屋上にばかりおられるお稲荷さんにせめて会社の中の一齣でも見て頂こうとの意をもも含んでか、急遽会議室に社を移して、神田明神の石橋神官を招き、厳かに初午祭の儀式を取り行なった。

式典終了後、招待者は社長室、社員は会議室のお稲荷さんの前で夫々盛大に祝宴が始った。外は何時しか雪になり、その雪が益々強く降りつのって、これが十三年振りで三日間も降り続く大雪になる前ぶれとは誰もが気づかなかったであろう。

尚、館林工場へは、吉田常務、春日部工場へは、森課長が夫々代参した。館林工場では今回お社の上に立派な屋根が奉納された。

と白く泡立って流れていく様は実に壮観であった。これより一路本日の宿泊地、琴平へと急ぐ。外は相変ら雨だが車中は歌など出て誠に賑やかなもの。予定より十分程遅れて琴平花壇に着く。一風呂浴びて午後七時より懇親会に入り杯が重なるにつれ琴平の花形連中と阿波踊りなどに興じて和気靄々の内に終了。翌朝七時半宿を出て金刀比羅宮朝詣りを決行。天候は前日よりも悪く雨脚は強い。全員七百八十段あるという石段を昇って祭神大国主命と崇徳天皇を合祀してあるという本宮まで約一時間半ほどで無事帰宿した。

それから朝食をすませ午前十一時琴平を後にして、特別名勝として知られている栗林公園へ向う。この公園は寛永初年藩主生駒高俊公から歴代藩主が修築を重ね五代頼恭公迄百年かかって延享二年に完成したと言う造園で、殊に紫雲山を背景にした南庭、北湖、北庭等又南湖より望む掬月亭、一名星斗館など、正に名園と言われる貫禄充分であった。栗林を最後に二日間共雨にたたられ誠に残念な旅行ではあったが、それでも一同至って元気で、雨は雨なりに又楽しい旅でもあった。（川口記）

（金比羅宮の参拝を終えた一行）

本日の参加社

桜電機㈱、田摩フレックス工業㈱、中央螺旋工業㈱、斉藤機械製作所、日本トムソン㈱、柿沼製作所、理研ダイヤモンド工業㈱、中央機材㈱、佐藤機械製作所、国光工業㈱、越田商工㈱、富士機工社、昭南発条、栄光商会、新日本鍛工㈱、富士重工㈱、㈱朝川印刷社、モーリス工業㈱、鈴木製作所、鯨井鋳造所、三洋機械工具店、小林木工所、福岡製作所、泉田工業㈱、ナガセ鋼機、北辰精機㈱、三笠産業㈱　以上

□東京道友会総会

近年ではめずらしい大雪の降った二月十一日、中道機械産業さんと、それに協力する取引先の建材メーカー三十数社とで結成されている東京道友会の第九回総会が、湯の街伊東ニューかにやホテルを会場として午後二時半より盛大に開催された。

会は中道機械の鹿野次長の開会の辞に始まり、会長代理として出席の三笠産業京谷専務、中道社長の挨拶に続いて、議事に入り、会長の改選、役員の選出、新会員の入会、会計報告等が審議され、次いで今期を最後に四期続けて会長を歴任してきた三笠産業京谷社長の「辞任の（　）」が京谷専務により（　）され、四年にわたる長い間、大過なく過ごすことが出来たことは、会員各位の御協力と中道社長を初めとする事務局の皆様の御助力の賜であり、今日社業益々隆盛を迎えて、更に一大発展を期するこの時にあたり、新会長に業界有数の日本製鋼所の武光常務が就任されたことは誠に喜ばしく、今後は私の代りに専務を幹事の一人として加えて頂き会の発展と中道さんの隆昌に御協力を尽くしたいと述べれば、次いで新会長に選任された日本製鋼所武光常務も次期会長としての抱負を語り、会員に協力を要請され会員各人とも心の中に深くうなづき合うのであった。

その後千代田コンベヤー高橋社長から前会長へ記念品を贈呈したいという緊急動議が出され、満場一致の賛成を受ける、引続き中道社長より十七期（今期）予想

（道友会）

と来期の業績目標について相当な高度成長を盛り込んだ積極的な販売政策が陳べられ、又これに対処する新組織と人事の移動については石井総務部長の説明があった次第であります。

今度のキャラバンは昨年の後半より発売されたMTR80型タンピングランマーの各社長連を乗せた駕籠もぬれしょぼたれて風情なし、屋島随一の見所と言うべき展望台よりの景観も残念ながら雨の為視界ゼロとあっては万事窮すといったところ。案内人のせめても心使いか、この辺の名物とか言う、いい蛸のおでんなど立食いしながら気をまぎらわしていた。最初駐車して置いた屋島レストセンターで昼食。十二時三十分出発鳴門へと向い約一時間半で岡崎港桟橋へ到着、一同チャーターしてあった観潮船で鳴門の渦潮見物に出かけた。鳴門市の大毛島東北端祥崎と淡路島の門崎との間で海水の干満に依って起る、幾つもの渦潮の中心部が大きなぼんで顔々と白く泡立って流れていく様は実に壮観であった。これより一路本日の宿泊地、琴平へと急ぐ。外は相変ら雨だが車中は歌など出て誠に賑やかなもの。予定より十分程遅れて琴平花壇に着く。一風呂浴びて午後七時より懇親会に入り杯が重なるにつれ琴平の花形連中と阿波踊りなどに興じて和気靄々の内に終了。翌朝七時半宿を出て金刀比羅宮朝詣りを決行。天候は前日よりも悪く雨脚は強い。全員七百八十段あるという石段を昇って祭神大国主命と崇徳天皇を合祀してあるという本宮まで約一時間半ほどで無事帰宿した。

それから朝食をすませ午前十一時琴平を後にして、特別名勝として知られている栗林公園へ向う。この公園は寛永初年藩主生駒高俊公から歴代藩主が修築を重ね五代頼恭公迄百年かかって延享二年に完成したと言

（花壇にて笠友会懇親会）

□第十回笠友会総会開く

（三月十四日四国琴平華壇にて）

今年は、昨年よりの懸案であった、金刀比羅巡りを決行しました。三月十四日（火）東京駅午後七時三十分発の、寝台、急行さぬき号で、総員三十四名（二名欠）出発。

車中は館林組の酒豪連にあおられてすっかりメートルが上り中々の賑わいでした。翌朝九時八分宇野着。一同宇高連絡船に乗換えて十時三十分高松港に上陸、兼ねて用意の貸切観光バスに乗車という具合でスムーズに運びましたが生憎と天気の方が思うようにならず屋島への快適なドライヴウエーも、有名な源平屋島壇の浦の古戦場も雨に閉ざされて、何やらさっぱりわからず、京谷、田摩、三好

遠く神戸から子安、京都から中田、名古屋から岩田の三氏がかけつけられたのを始め、小田原や足利から

当日の出席者

島田、小林、小室、片柳
山田、吉田、京谷、八木
松広、飯村、水上、川村
菊地、水谷、鈴木（東京）
能勢、渡辺、溝口（横浜）
矢菅、奥貫（足利）大橋
（小田原）岩田（名古屋）
中田（京都）子安（神戸）

キャラバン便り（其の三）

東海地方（浜松、静岡）のキャラバンを終えて

実施期間　（三月六日～三月十一日）

今年もいよいよキャラバンのシーズンに突入した。初めに、お茶の名産地として名高く、又映画や芝居で清水の次郎長と森の石松で有名な静岡県から開始した。

現在、浜松市内には新進気鋭の会社でしかも斬新な経営方針をとっている大興産業とその他の建設機械販売店も三、四あり、その上名古屋、静岡方面からも販売網を広げてる為各メーカーやデーラーが押し寄せてきて、多種多様の機械が可成り低価格で使用されていた。今回我々が巡回して感じた事はユーザー間で納入後のアフターサービスを重点にして購入する様に考え方が変りつつある様に思えた。言い変えれば地元のデーラーより購入するという事でもある。これというのも、我が三笠の特約店である大興産業が最近倉庫と兼用で修理工場を設立された事が市内の大手ユーザーに知れわたり、そのサービス振りが買われて、信用度がぐんぐん上り、この分でゆくとこの浜松地区が三笠一色に塗り潰されるのも時間の問題である様に思われからである。

その点静岡地区はバイブレーター、タンピングランマーは勿論の事、その他の機種においても三笠一色である事は建設機械店の老舗として又三笠の代理店として定評ある㈱片岡屋さんが頑張っておられるからであり、今こそまさまざとその実力を目の当り見せつけられ強く感銘した次第であります。

今度のキャラバンは昨年の後半より発売されたMTR80型タンピングランマーの国産第一号メーカーとして60型を開発し、次いで120型、160型と世に出し注目を集めたが、今はメーカーの数も多くなり、それだけにユーザーの製品を観る目は上達している。従って巡回先各ユーザーの80型タンピングを見つめる瞳には熱気がこもっていた。しかし、この80型タンピングランマーのセクションを見てもらったり心行くまで使用してもらったりして、その優秀性を充分に認識してもらえたと思う。また、代理店の第一線セールスマンも、我々が説明する前に、これは優秀な機械だということを強調して下さった。これは既にセールスマン自身が昨秋より発売しているものに対し、一台のクレームなり、苦情が来ないという過去の実績がこのような自信を植えつけているように思われる。

これを機会に三笠代理店の方々に声を大にしてMTR80型タンピングランマーを自信をもって販売される事を強く要望して後半の人にバトンタッチして帰京する。

（営業部東販課鈴木）

MTR80型タンピングランマーの実演

ラバンを終えて実施期間（三月六日～三月十一日）を重点に強烈にプッシュして廻り、現在迄二千台近く納入されているが、いまだに一台もクレームや修理の話も出ていない状態であるだけに、実際に工事現場の方の使用しておられる声をまとめると、(1)本機の背丈が低くなり使い易くなった。(2)その為安定度がより一層増した。(3)エンヂンにガバナーが付いたので故障が起きない。(4)前のものより幅圧力がある。

以上が重な点で各地の現場で非常に好評を博しており、我々もより一層の自信を深めた。